

中間市
在宅介護実態調査
調査結果報告書

令和8年4月
中 間 市

目 次

各設問回答状況

I	：調査の概要	I
A 票	：ご本人（調査対象者）について	2
B 票	：主な介護者の方について	32

➤ 1 調査の概要

(1) 調査の目的

「第 10 期中間市高齢者総合保健福祉計画書」（令和 9 年度～令和 11 年度）の策定に当たり、市内の高齢者などの生活実態や健康状態等を把握し、これを計画策定の基礎資料とするために実施した。

(2) 調査の対象

令和 8 年 1 月 1 日現在、中間市在住の在宅で介護を受けている方の中から無作為抽出した 1,000 人。

(3) 調査の方法

郵送配布、郵送回収

(4) 調査の期間

令和 8 年 2 月 2 日（月）から令和 8 年 2 月 28 日（土）

(5) 回収結果

発送数	有効回収数	有効回収率
1,000 件	618 件	61.8%

(6) 報告書の見方

- 四捨五入による有効数字の関係上、単数回答であっても合計値が 100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、有効回答者数に対して、それぞれの割合を示しています。
- グラフの値については、レイアウトの関係上省略することがあります。

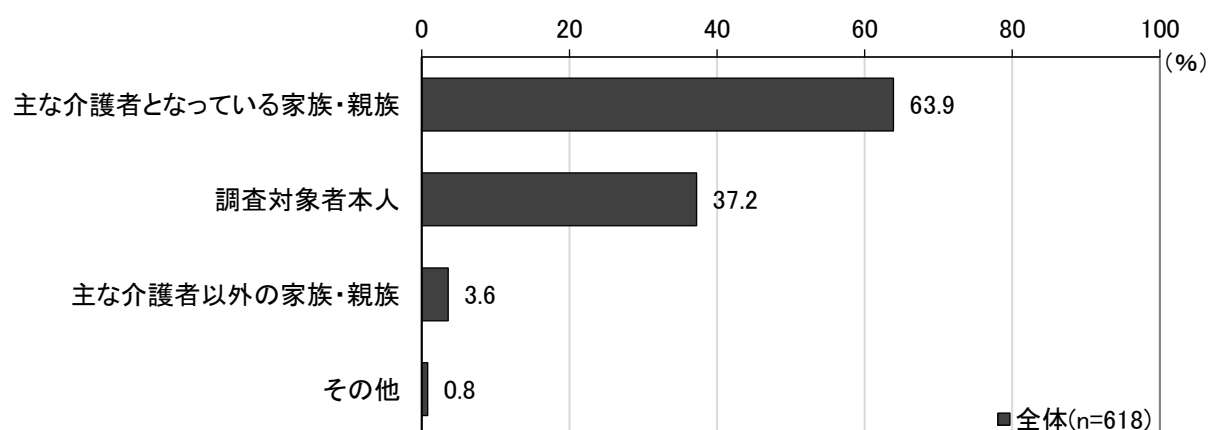
➤A 票：ご本人（調査対象者）について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）

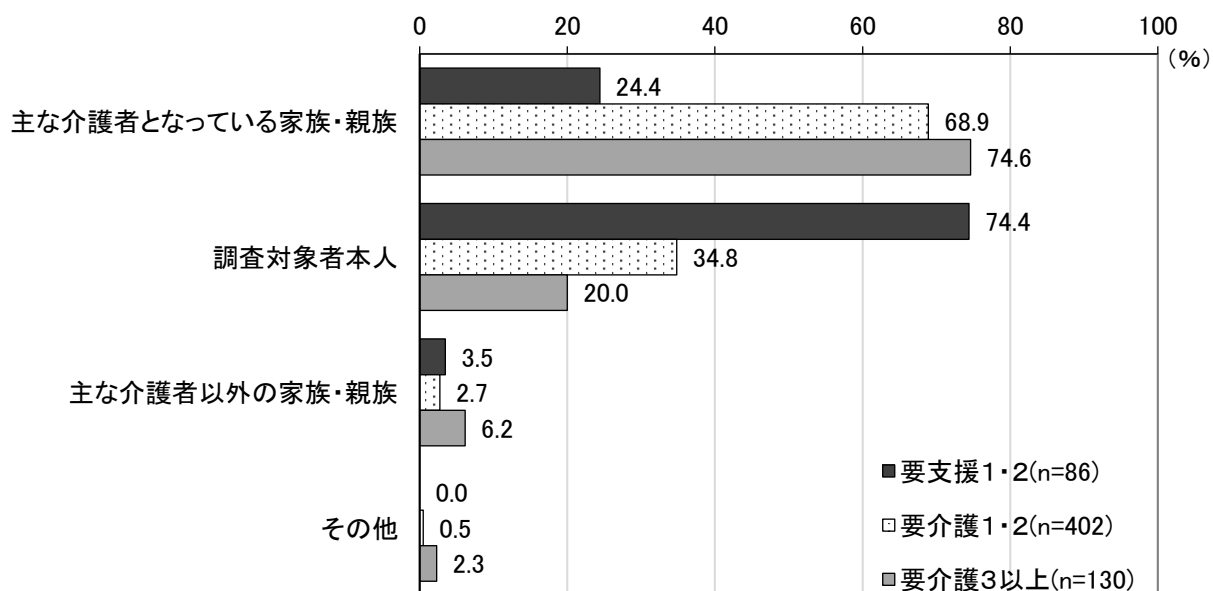
全体でみると、「主な介護者となっている家族・親族」が63.9%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が37.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.6%となっています。

要介護度別でみると、「主な介護者となっている家族・親族」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。

【全体】



【要介護度別】

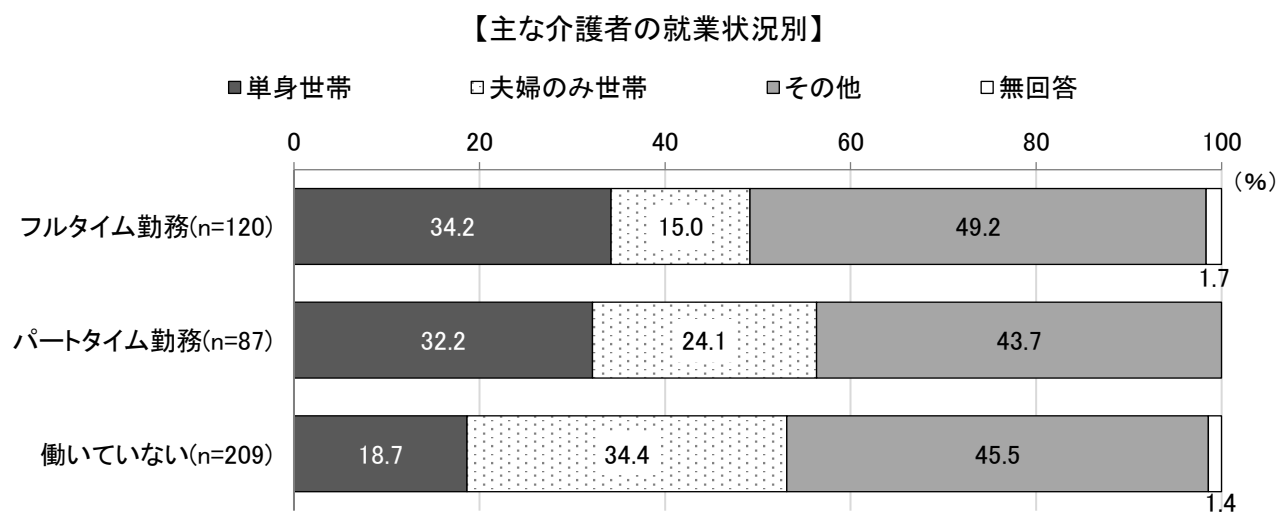
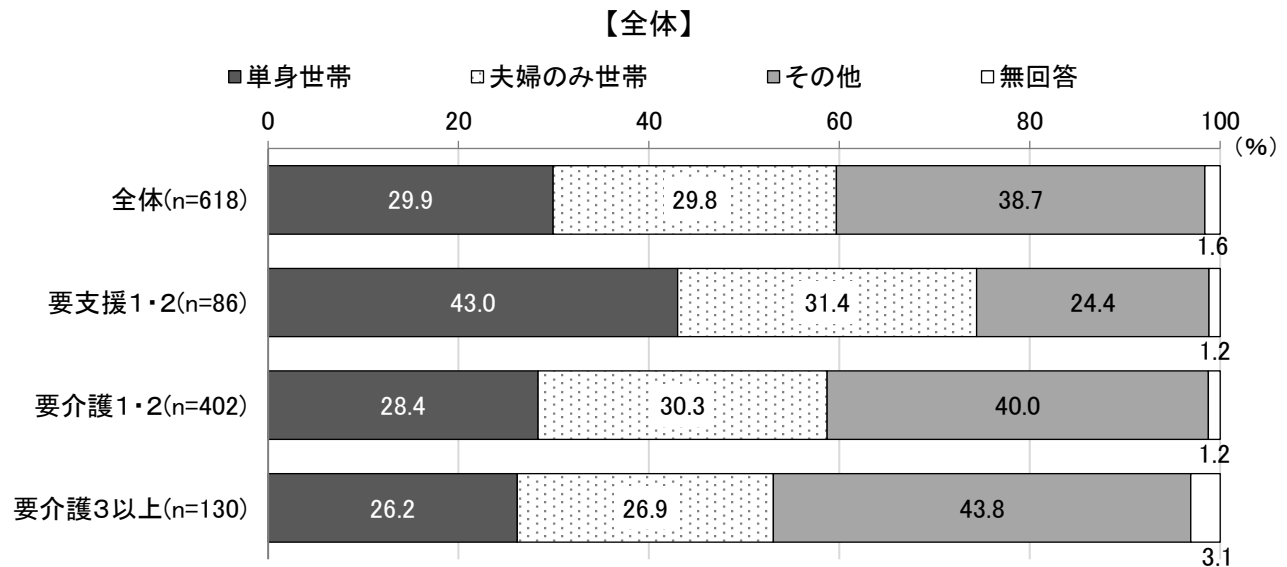


問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

全体でみると、「単身世帯」が29.9%、「夫婦のみ世帯」が29.8%、「その他」が38.7%となっています。

要介護度別でみると、「単身世帯」は要介護度が高くなるにつれ低くなっています。

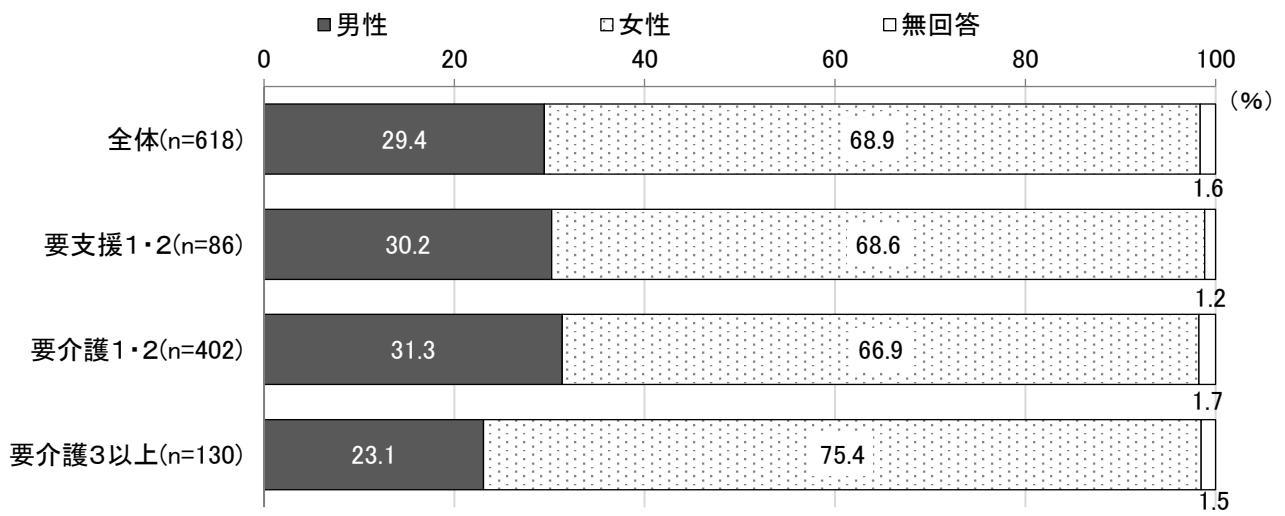
主な介護者の就業状況別にみると、「単身世帯」は“働いていない”が18.7%と最も低くなっています。



問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つを選択）

全体でみると、「男性」が29.4%、「女性」が68.9%となっています。

【要介護度別】

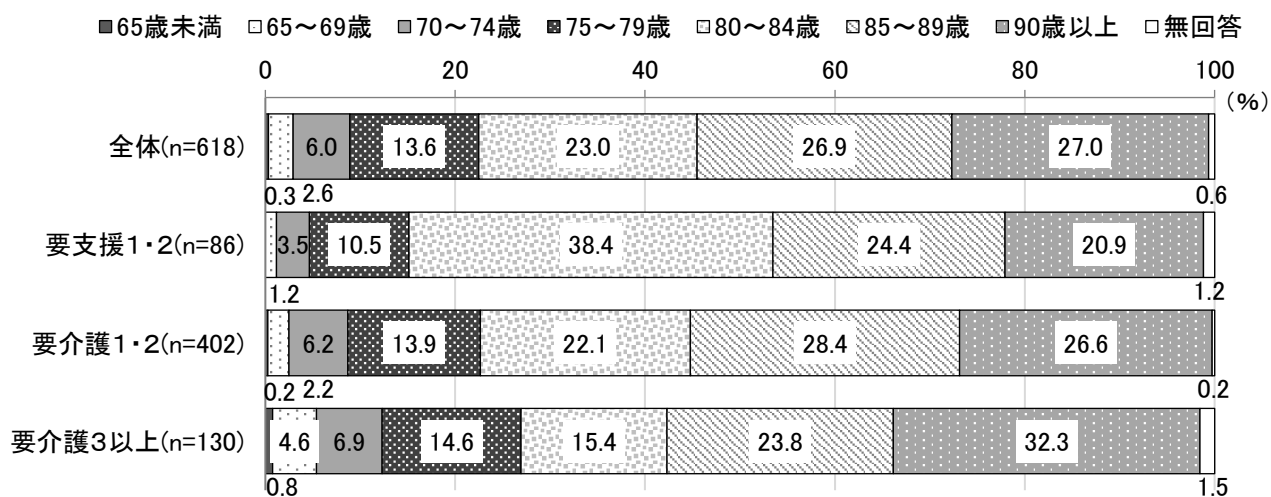


問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

全体でみると、「90歳以上」が27.0%と最も高く、次いで「85～89歳」が26.9%、「80～84歳」が23.0%となっています。

要介護度別でみると、「90歳以上」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。

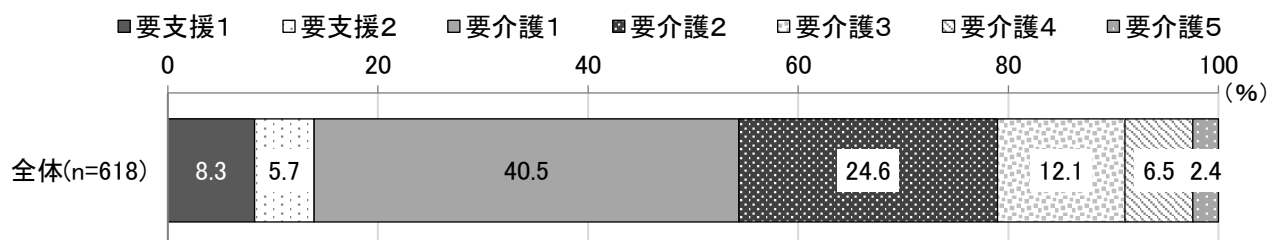
【要介護度別】



問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つを選択）

全体でみると、「要介護1」が40.5%と最も高く、次いで「要介護2」が24.6%、「要介護3」が12.1%となっています。

【全体】



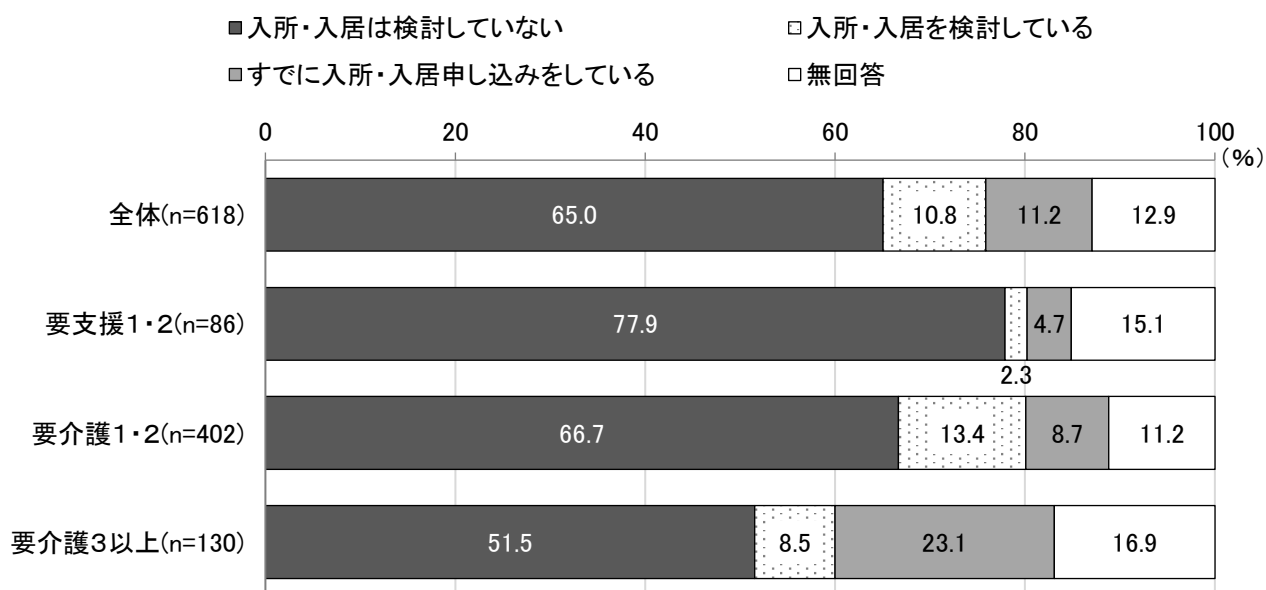
問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

全体でみると、「入所・入居は検討していない」が65.0%、「入所・入居を検討している」が10.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が11.2%となっています。

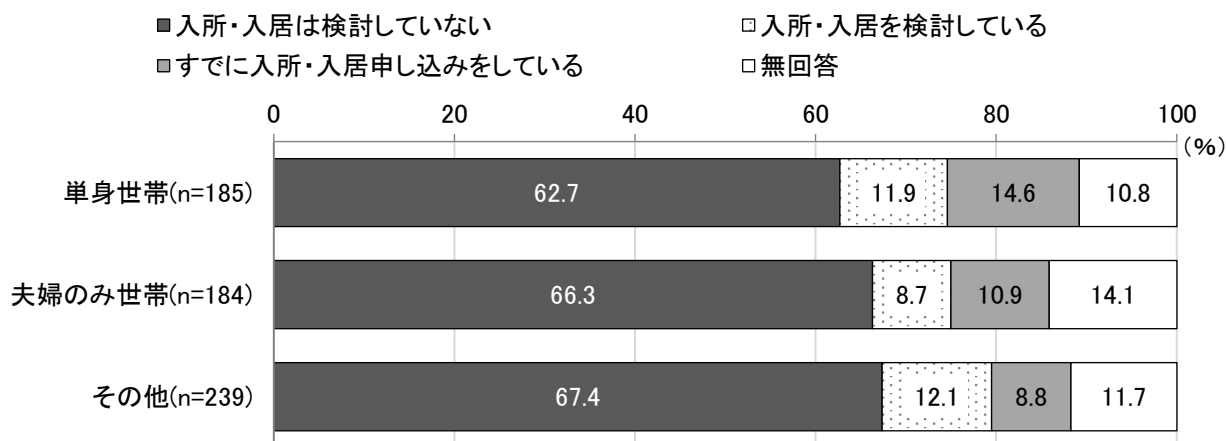
要介護度別でみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。

世帯類型別でみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」は“単身世帯”が14.6%と最も高くなっています。

【要介護度別】



【世帯類型別】



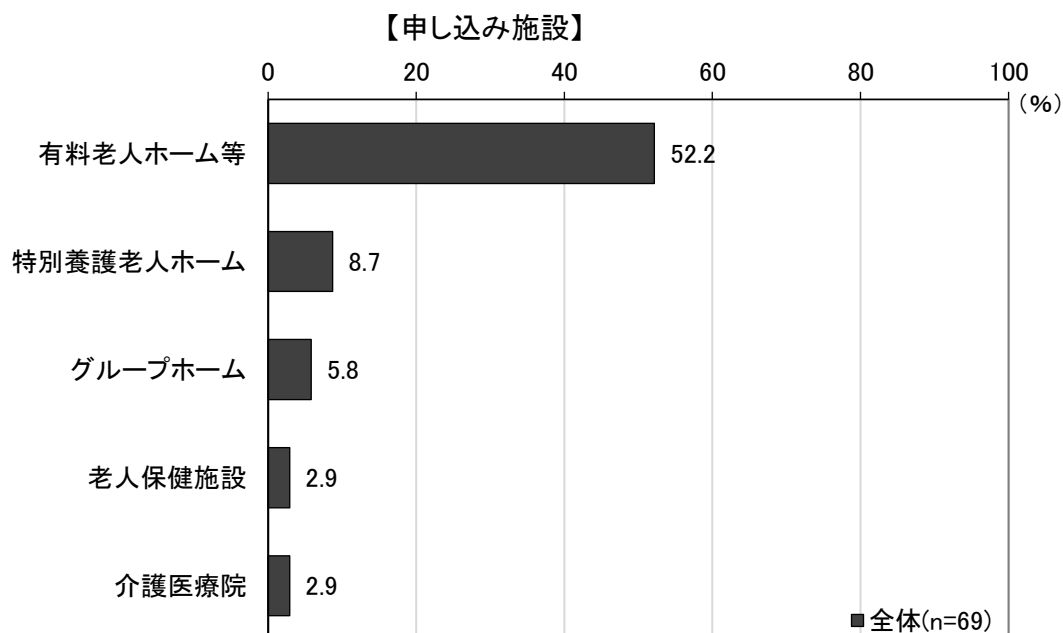
【問6で「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方にお伺いします】

問6-1 施設の種類と申し込まれてからの期間について、お答えください（施設の種類それぞれについて1つに○）

施設の種類について、全体でみると、「有料老人ホーム等」が52.2%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」が8.7%、「グループホーム」が5.8%となっています。

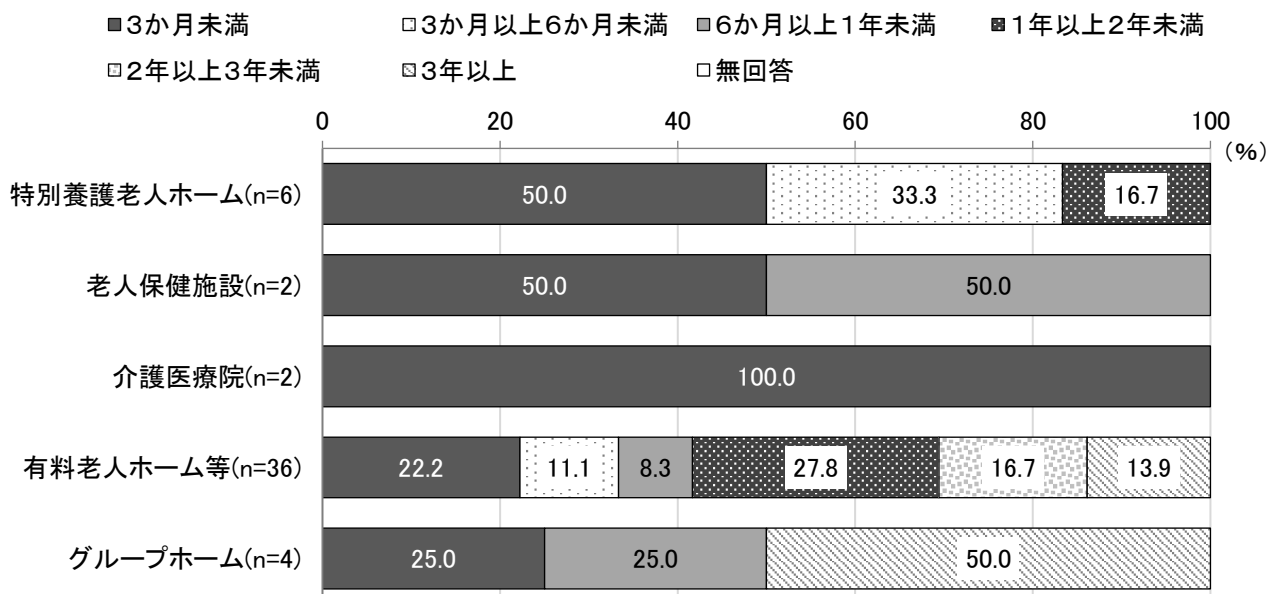
性別でみると、「有料老人ホーム等」は女性の方が男性より 11.6 ポイント高くなっています。

申し込みからの期間について、全体でみると、『1年以上（「1年以上2年未満」、「2年以上3年未満」、「3年以上」の合計）』は、「有料老人ホーム等」が58.4%と最も高く、次いで「グループホーム」が50.0%、「特別養護老人ホーム」が16.7%となっています。



※上段は人数 ※下段は割合		母数	特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護医療院	有料老人ホーム等	グループホーム
全体		69	6	2	2	36	4
			8.7%	2.9%	2.9%	52.2%	5.8%
性別	男性	14	1	0	0	6	2
			7.1%	0.0%	0.0%	42.9%	14.3%
	女性	55	5	2	2	30	2
			9.1%	3.6%	3.6%	54.5%	3.6%
要介護度	要支援1	3	0	0	0	2	0
			0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
	要支援2	1	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	要介護1	17	1	2	1	10	2
			5.9%	11.8%	5.9%	58.8%	11.8%
	要介護2	18	0	0	1	9	1
			0.0%	0.0%	5.6%	50.0%	5.6%
	要介護3	15	4	0	0	7	0
			26.7%	0.0%	0.0%	46.7%	0.0%
	要介護4	11	1	0	0	6	1
			9.1%	0.0%	0.0%	54.5%	9.1%
	要介護5	4	0	0	0	2	0
			0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

【申し込みからの期間】

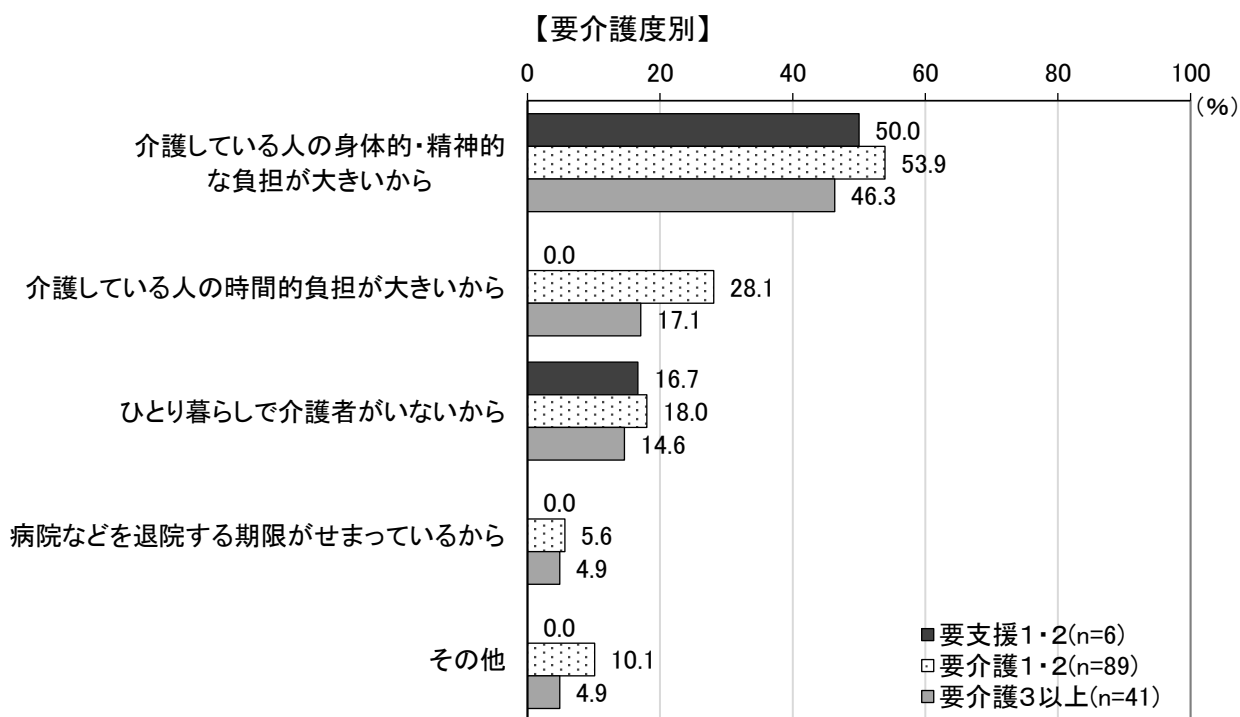
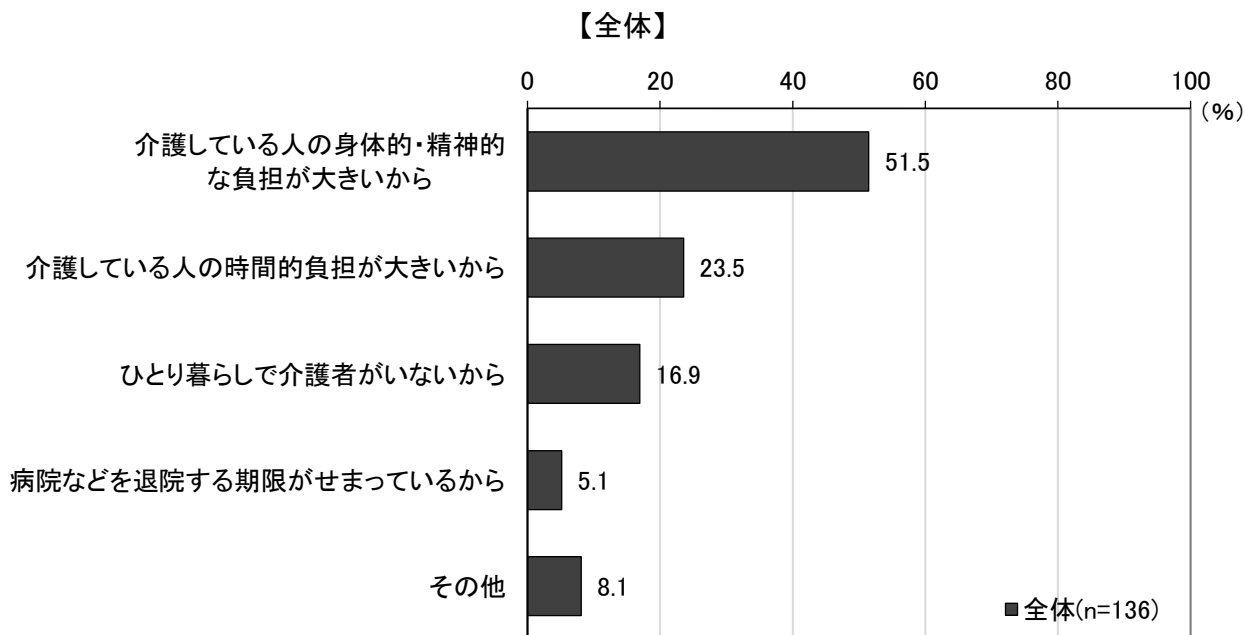


【問6で「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方にお伺いします】

問6-2 施設に入所したい理由は、何ですか（複数選択可）

全体でみると、「介護している人の身体的・精神的な負担が大きいから」が51.5%と最も高く、次いで「介護している人の時間的負担が大きいから」が23.5%、「ひとり暮らしで介護者がいないから」が16.9%となっています。

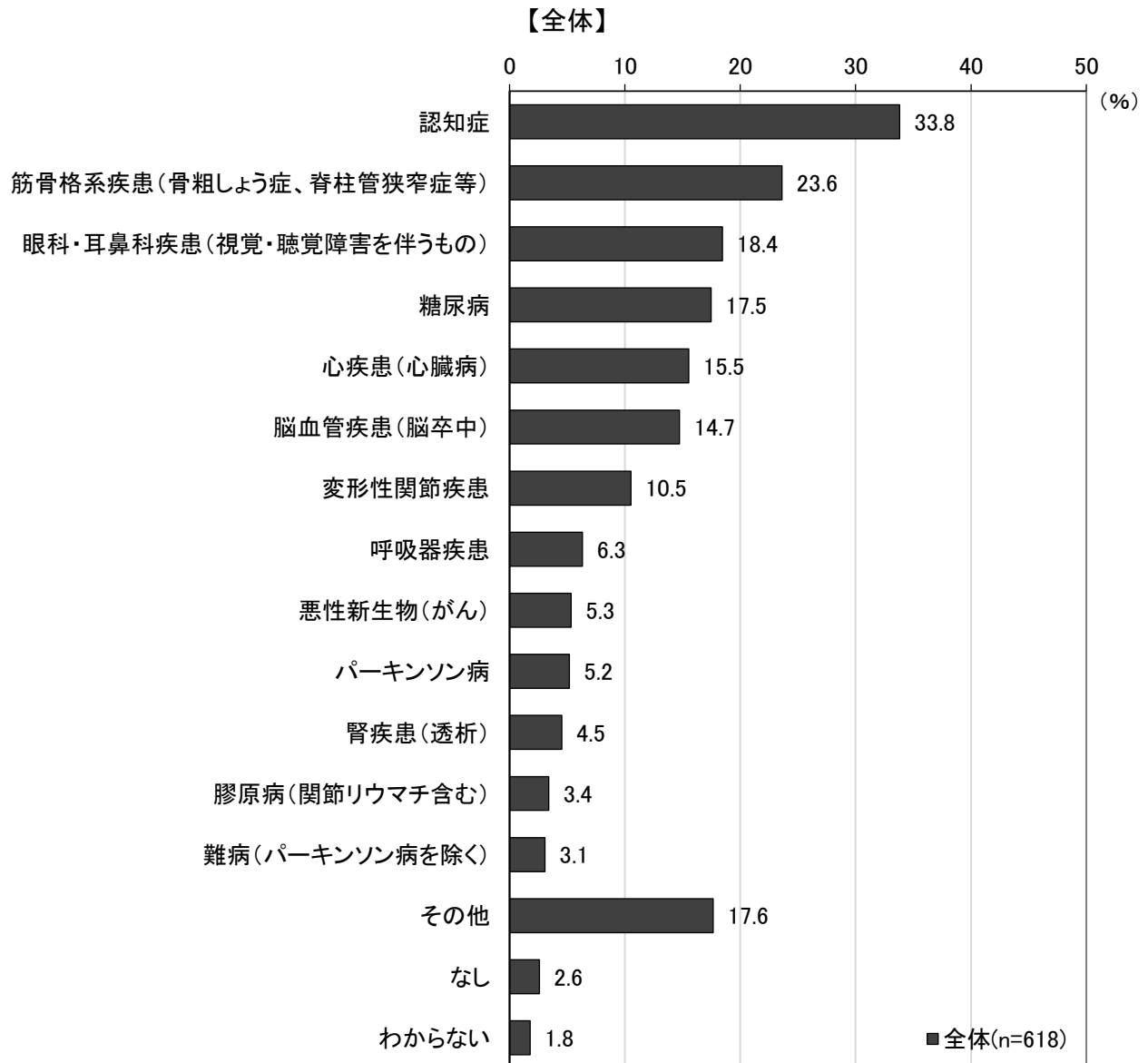
要介護度別でみると、「介護している人の身体的・精神的負担が大きいから」は“要介護1・2”が53.9%と最も高くなっています。



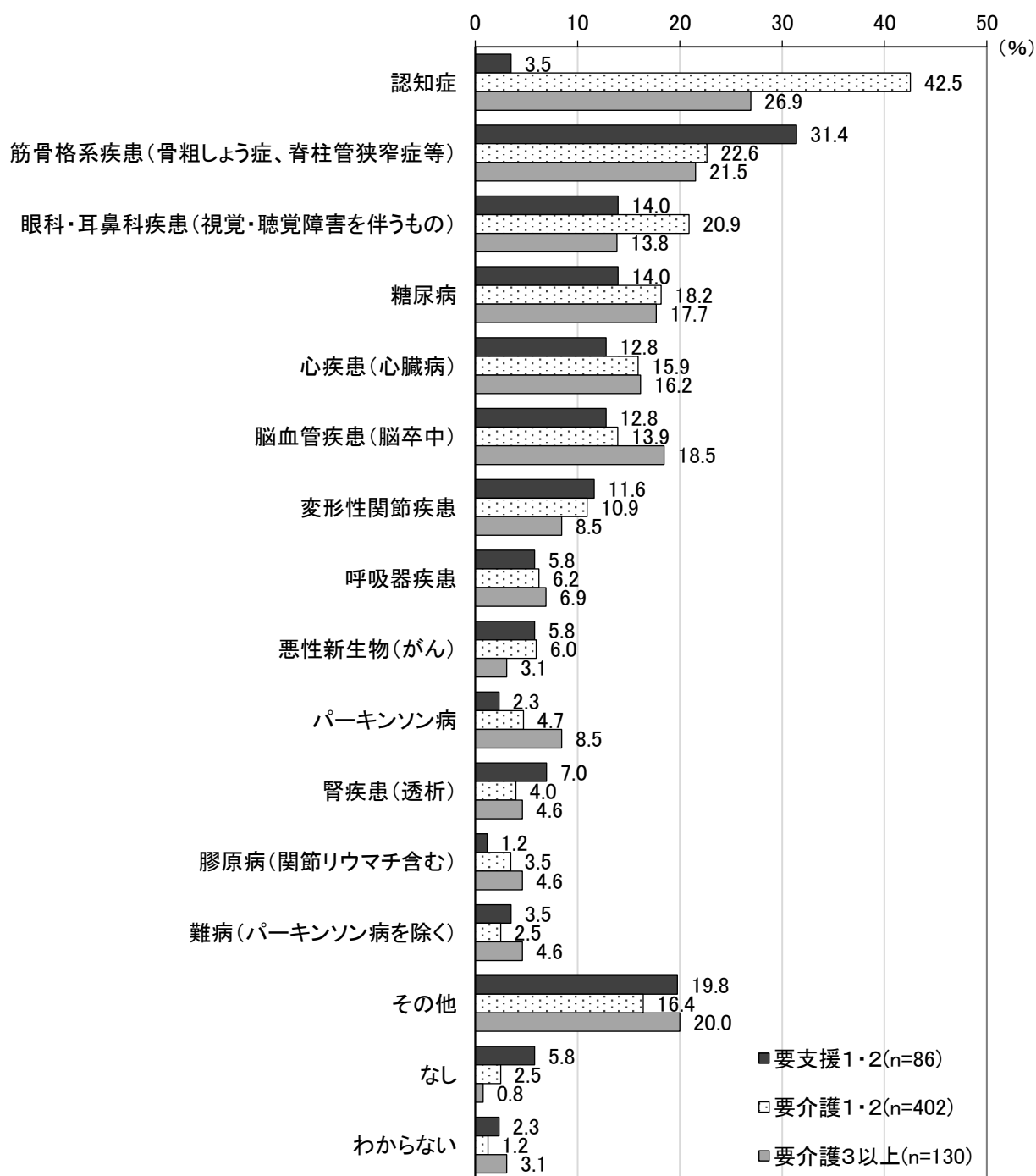
問7 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

全体でみると、「認知症」が33.8%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が23.6%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が18.4%となっています。

要介護度別でみると、“要支援1・2”では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が31.4%と最も高く、“要介護1・2”、“要介護3以上”では「認知症」がそれぞれ42.5%、26.9%と最も高くなっています。



【要介護度別】



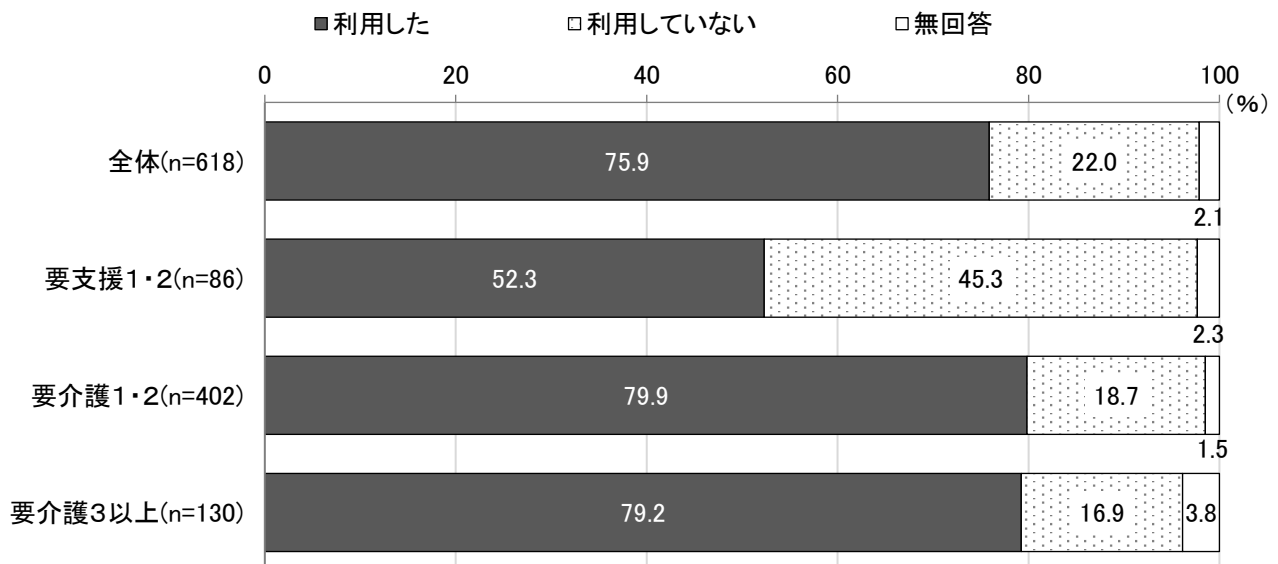
問8 令和7年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

全体でみると、「利用した」が75.9%、「利用していない」が22.0%となっています。

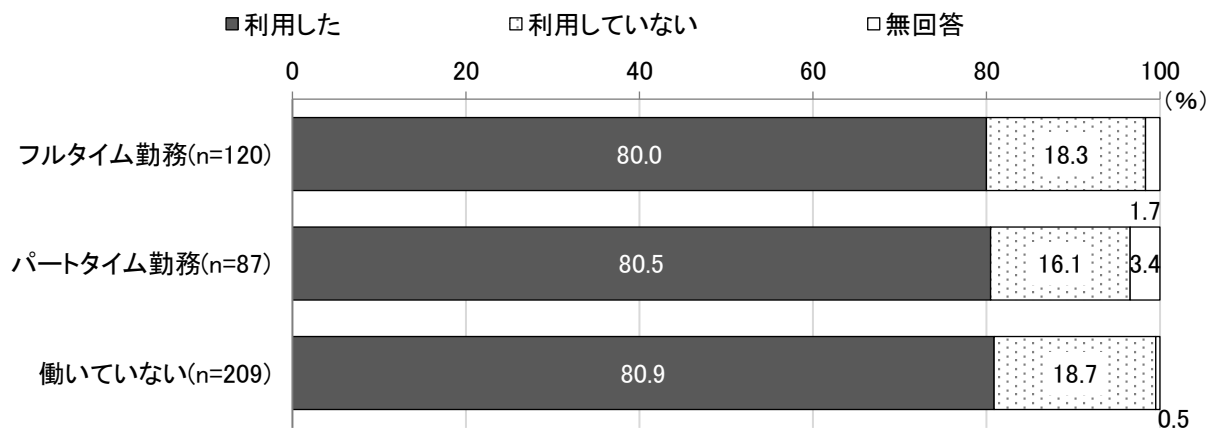
要介護度別でみると、「利用した」は“要介護1・2”が79.9%と最も高くなっています。

主な介護者の就業状況別にみると、「利用した」はいずれにおいても約80%となっており、大きな差は見られません。

【要介護度別】



【主な介護者の就業状況別】



【問8で「利用した」と回答した方にお伺いします。】

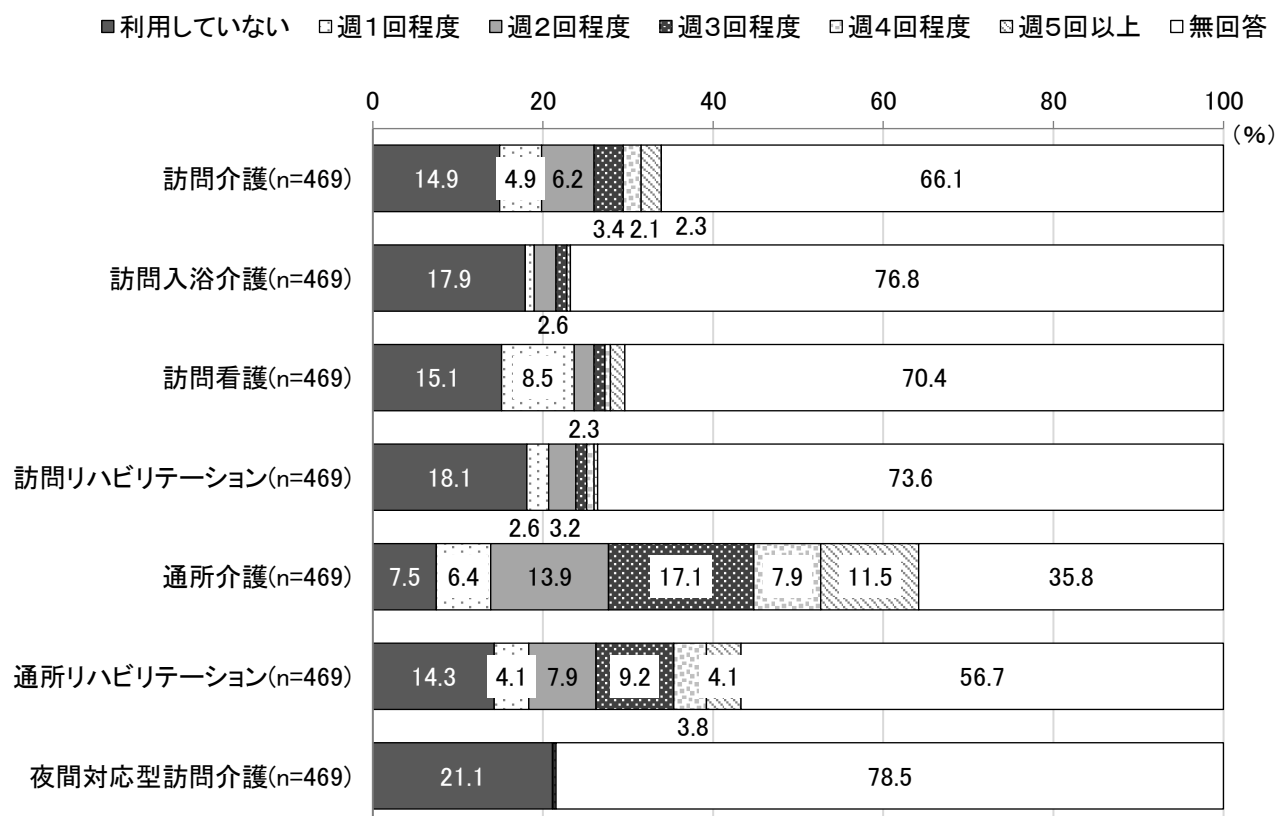
問9 以下の介護保険サービスについて、令和7年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、利用していない）」を選択してください（それぞれ1つに○）。

居宅サービスの1週間あたりの利用回数については、『週1回以上（「週1回程度」～「週5回以上」の合計）』は“通所介護”が56.8%と最も高く、次いで“通所リハビリテーション”が29.1%、“訪問介護”が18.9%となっています。

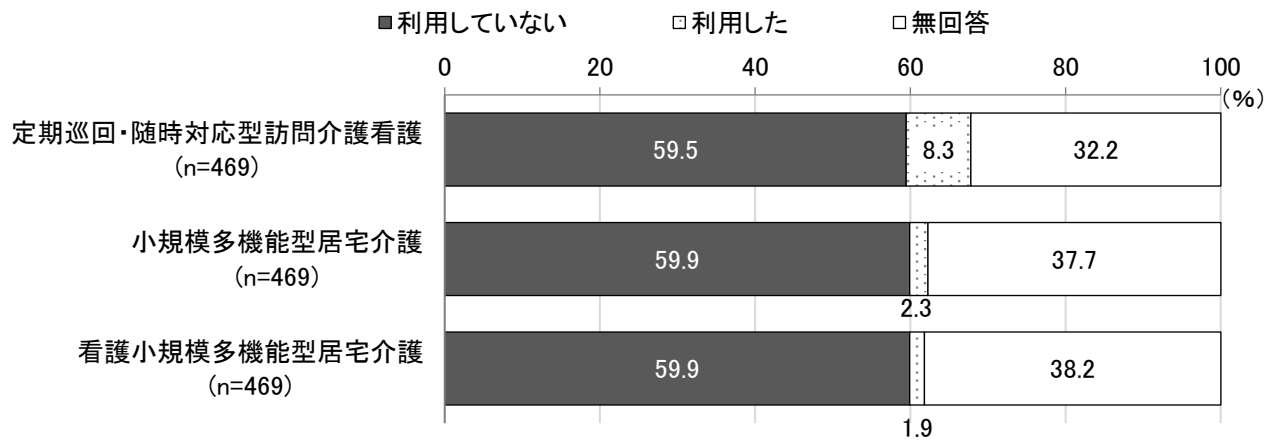
地域密着型サービスの利用の有無については、「利用した」は“定期巡回・随時対応型訪問介護看護”が8.3%と最も高くなっています。

“ショートステイ”の1ヶ月あたりの利用日数については、「月1～7日程度」～「月22日以上」の合計が15.7%となっています。“居宅療養管理指導”の1ヶ月あたりの利用回数については、「月1回程度」～「月4回程度」の合計が4.6%となっています。

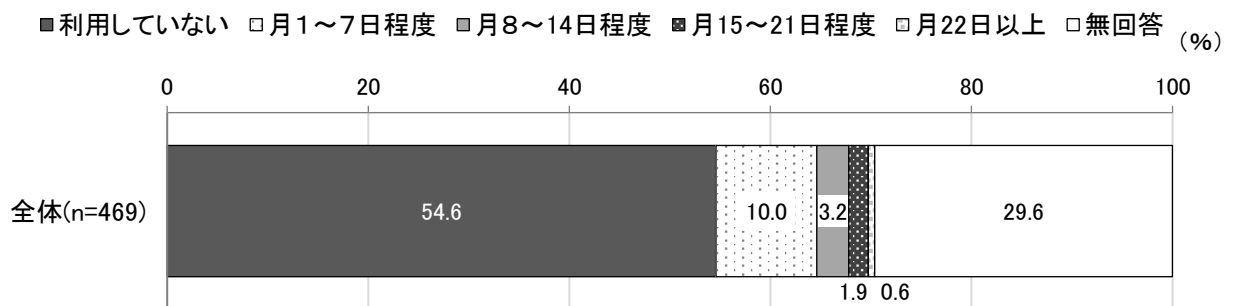
【1週間あたりの利用回数(居宅サービス)】



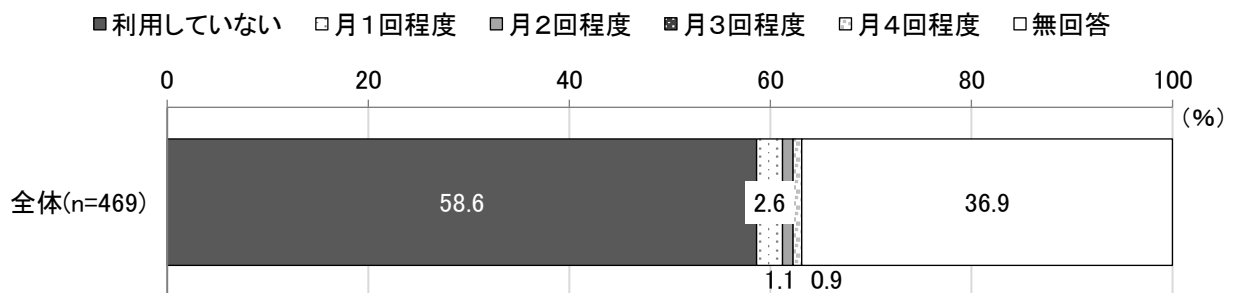
【利用の有無(地域密着型サービス)】



【1ヶ月あたりの利用日数(ショートステイ)】



【1ヶ月あたりの利用回数(居宅療養管理指導)】

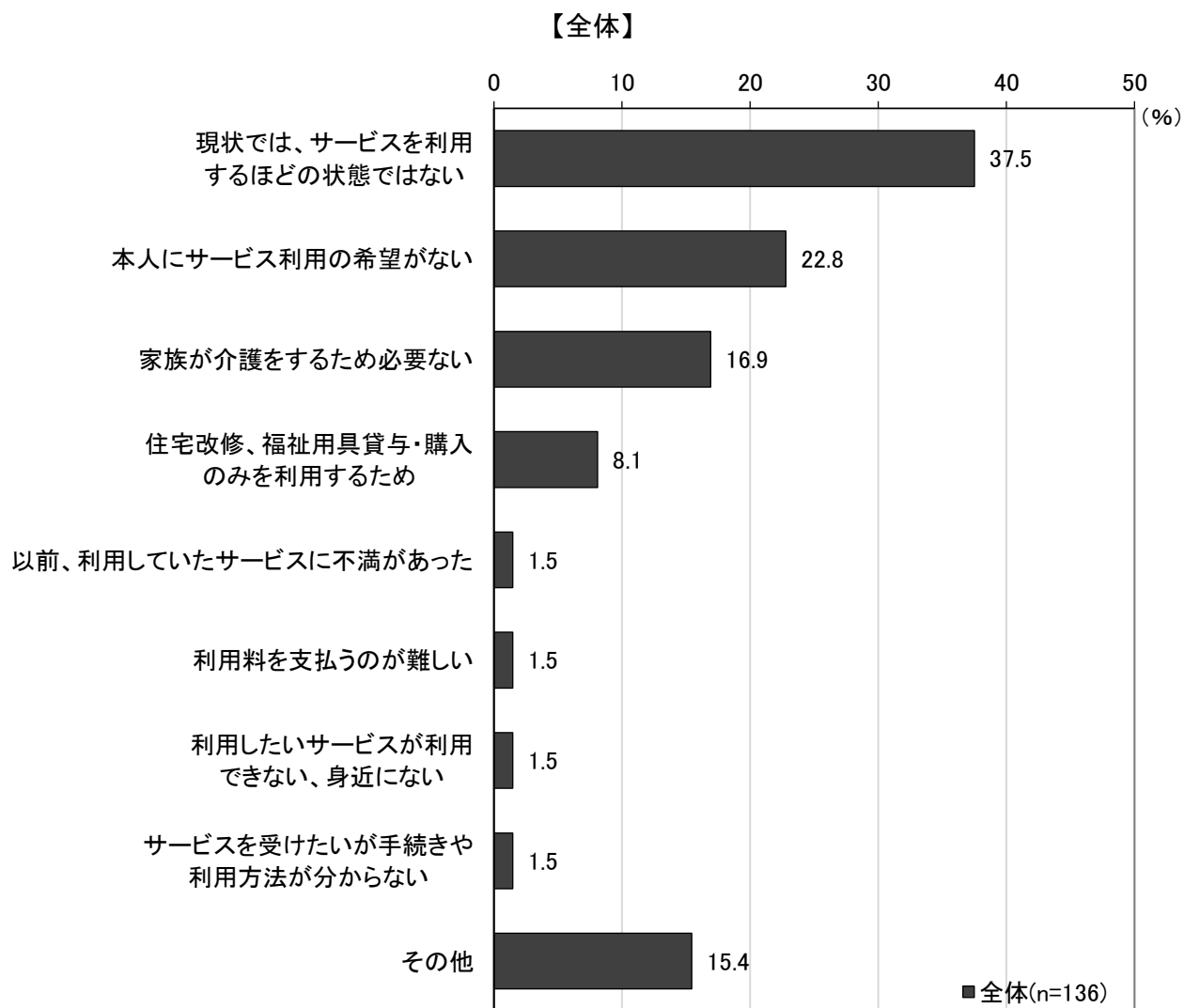


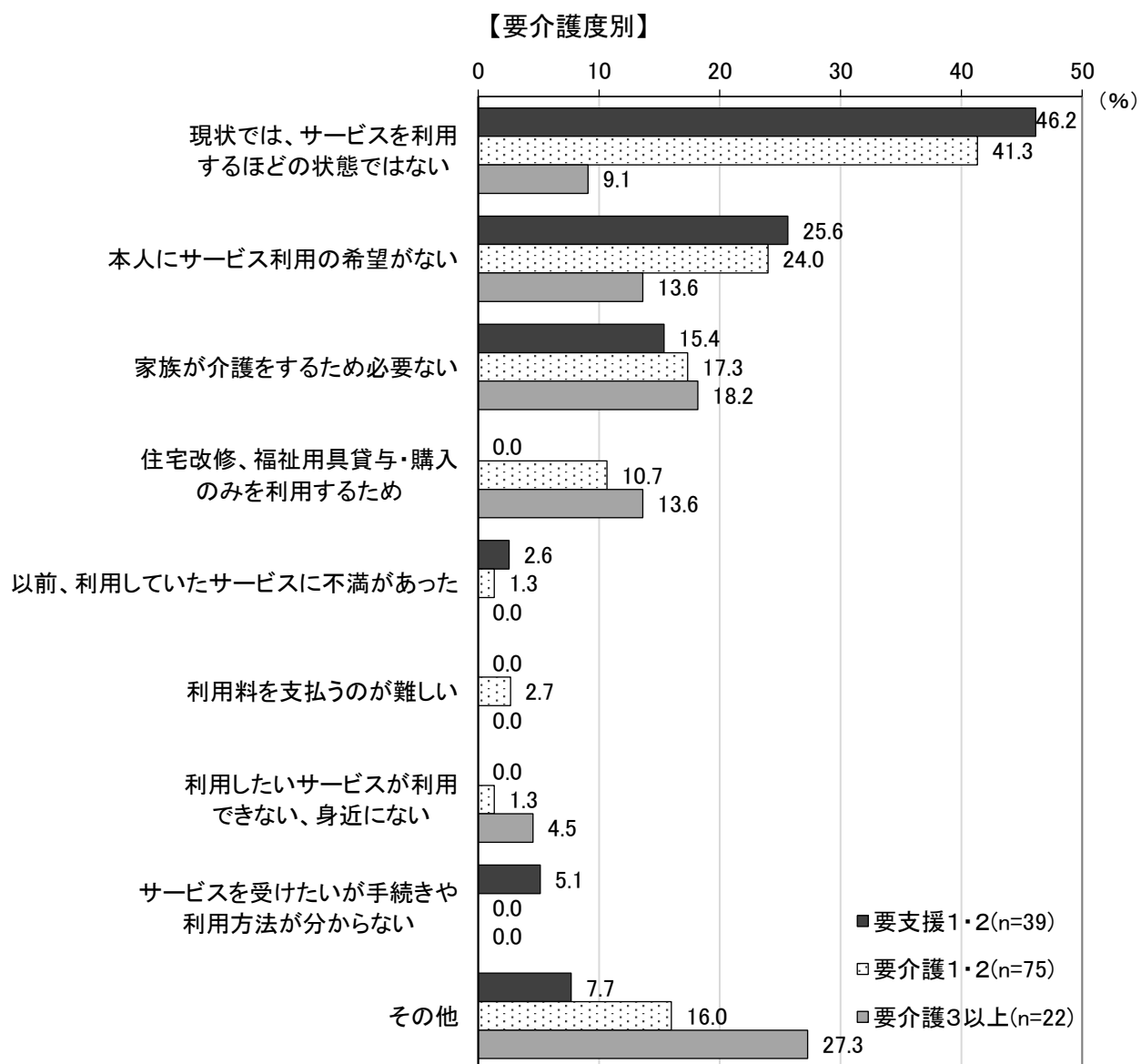
【問8で「利用していない」と回答した方にお伺いします。】

問 10 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

全体でみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が37.5%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が22.8%、「家族が介護をするため必要ない」が16.9%となっています。

要介護度別でみると、「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「その他」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。



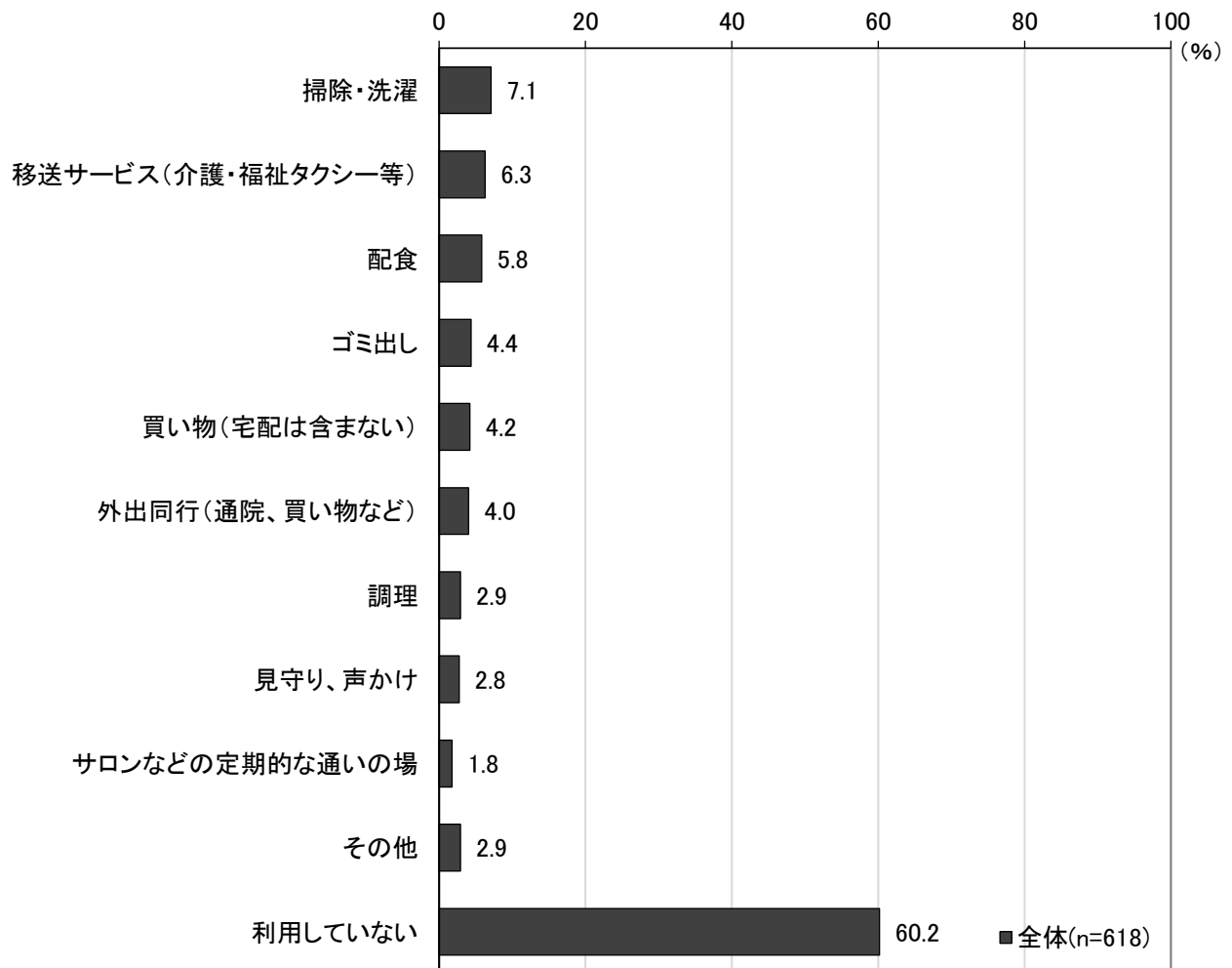


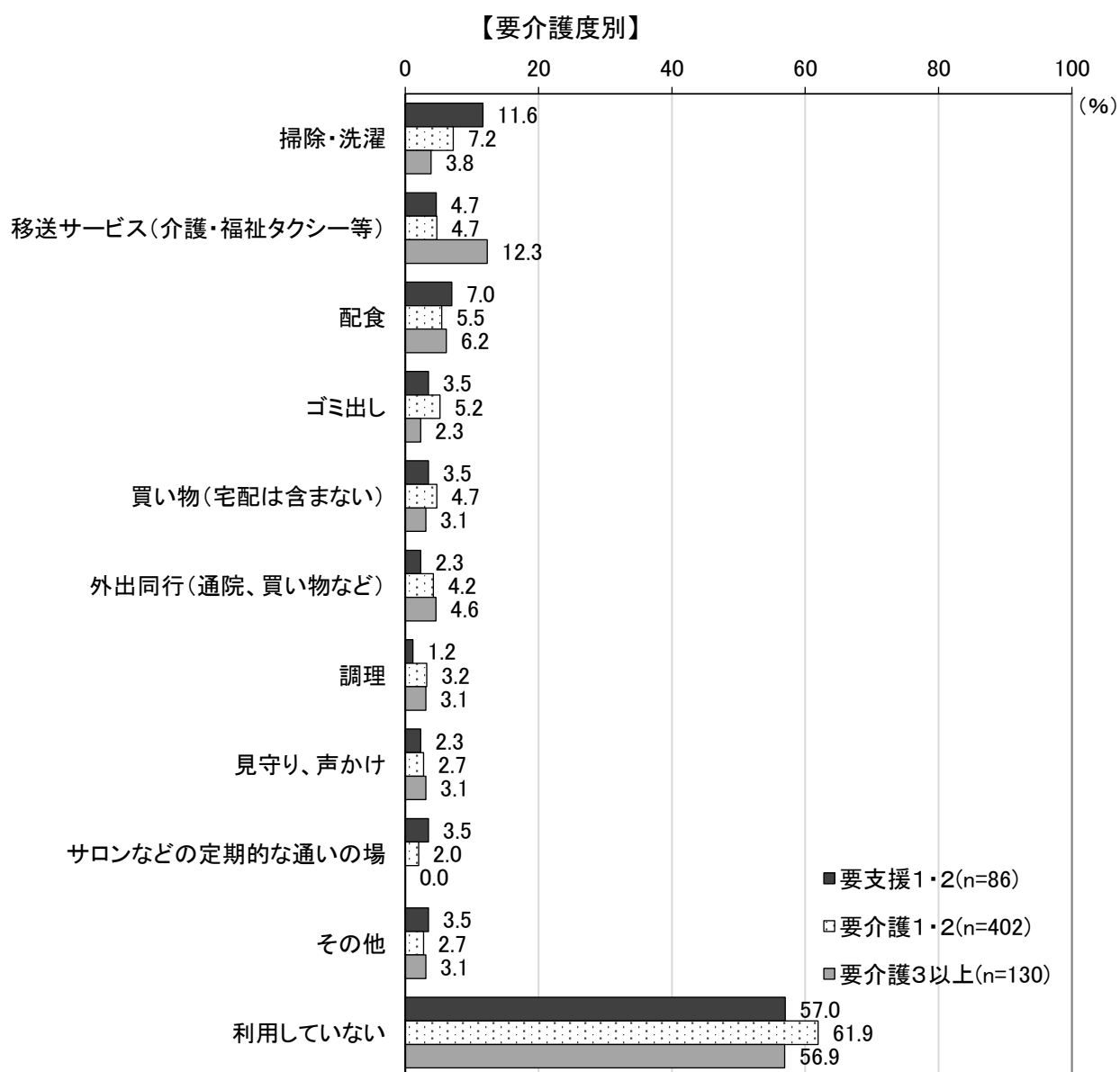
問 11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

全体でみると、利用している内容は「掃除・洗濯」が7.1%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が6.3%、「配食」が5.8%となっています。一方で、「利用していない」は60.2%となっています。

要介護度別でみると、「掃除・洗濯」は要介護度が高くなるにつれ低くなっており、「利用していない」は“要介護1・2”が61.9%と最も高くなっています。

【全体】

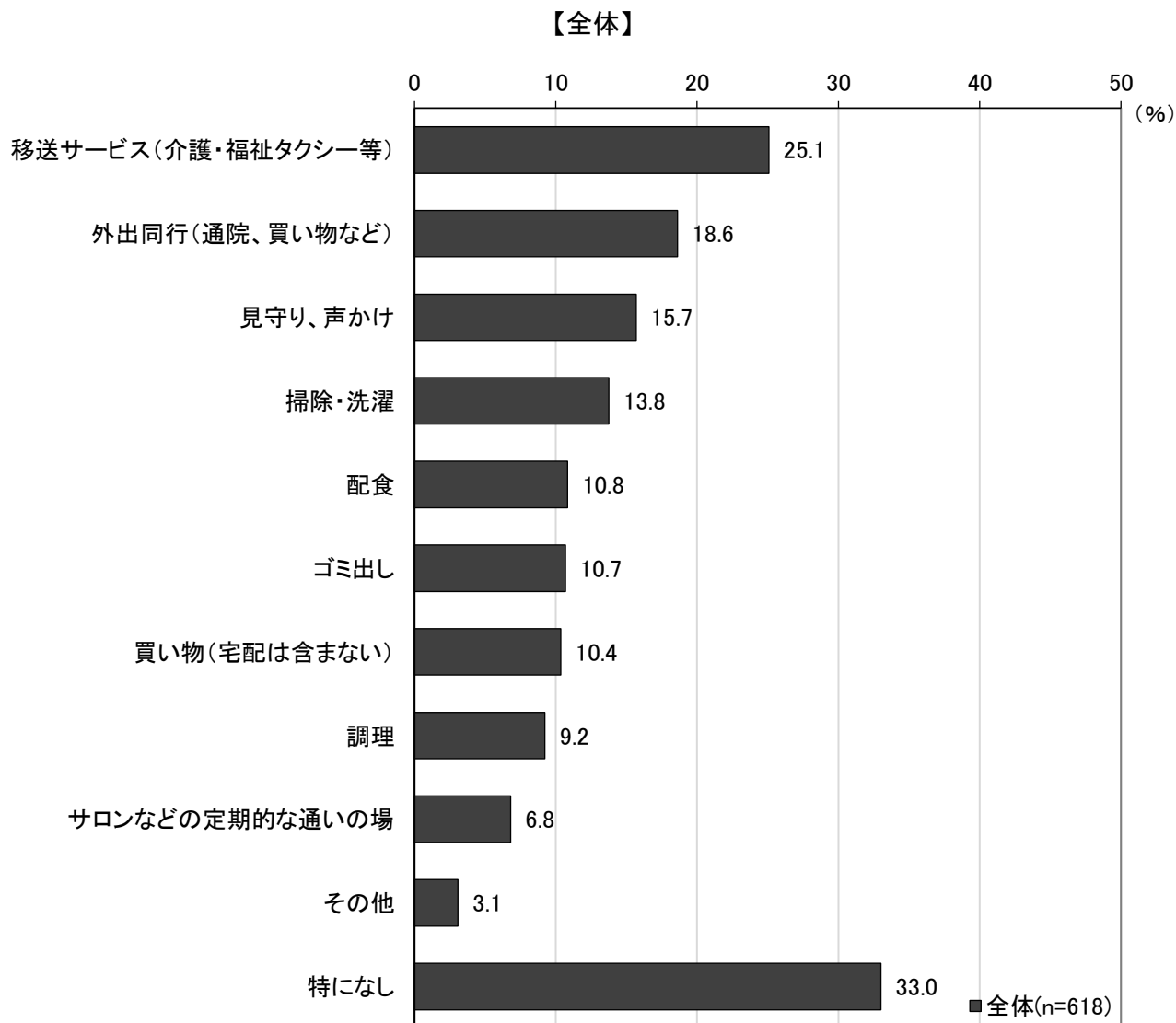




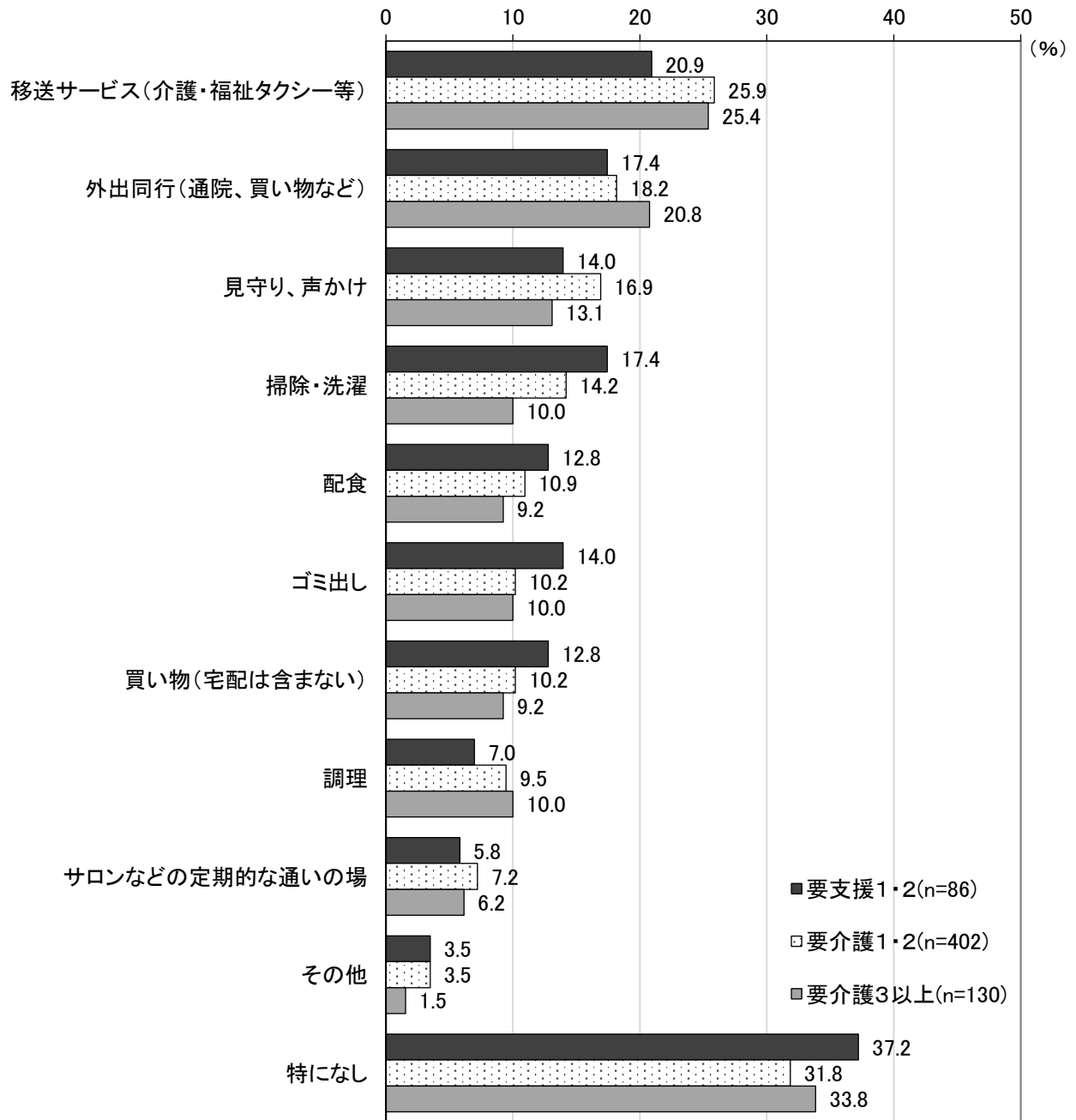
問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

全体でみると、必要と感じる支援・サービスの内容は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 25.1%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 18.6%、「見守り、声かけ」が 15.7%となっています。一方で、「特になし」は 33.0%となっています。

要介護度別でみると、「外出同行（通院、買い物など）」、「調理」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。



【要介護度別】

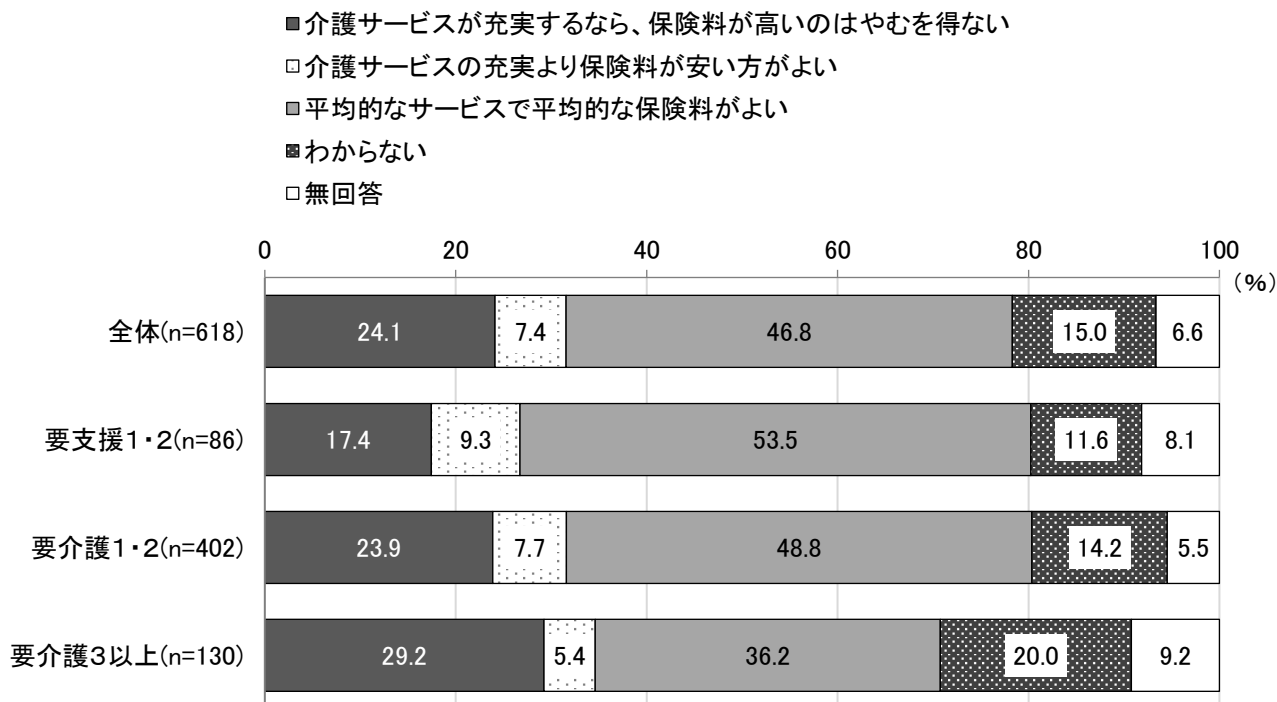


問 13 介護保険の保険料は、市全体で使われた介護サービスの量で決まります。あなたは、保険料の負担と介護サービスについて、どう思いますか。（1つを選択）

全体でみると、「平均的なサービスで平均的な保険料がよい」が46.8%と最も高く、次いで「介護サービスが充実するなら、保険料が高いのはやむを得ない」が24.1%、「わからない」が15.0%となっています。

要介護度別でみると、「介護サービスが充実するなら、保険料が高いのはやむを得ない」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。

【要介護度別】



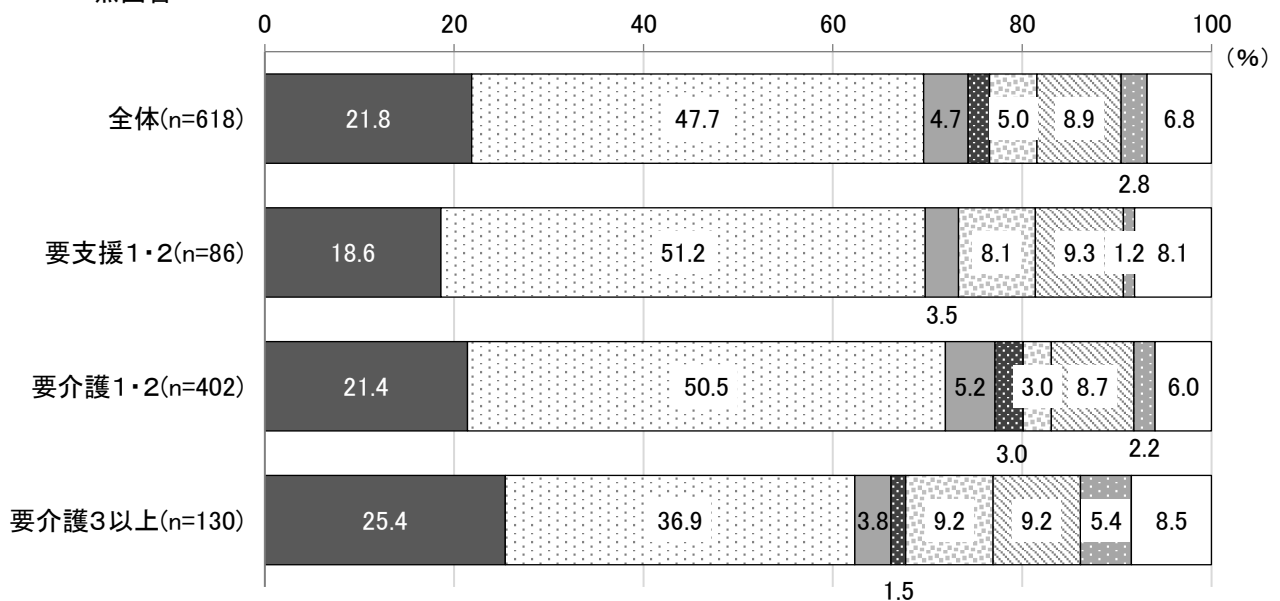
問 14 あなたは、これからの生活をどこでどのように送りたいとお考えですか。(1つを選択)

全体でみると、「介護サービスを利用しながら自宅で生活したい」が47.7%と最も高く、次いで「家族などによる介護を中心に自宅で生活したい」が21.8%、「わからない」が8.9%となっています。

要介護度別でみると、「家族などによる介護を中心に自宅で生活したい」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。

【要介護度別】

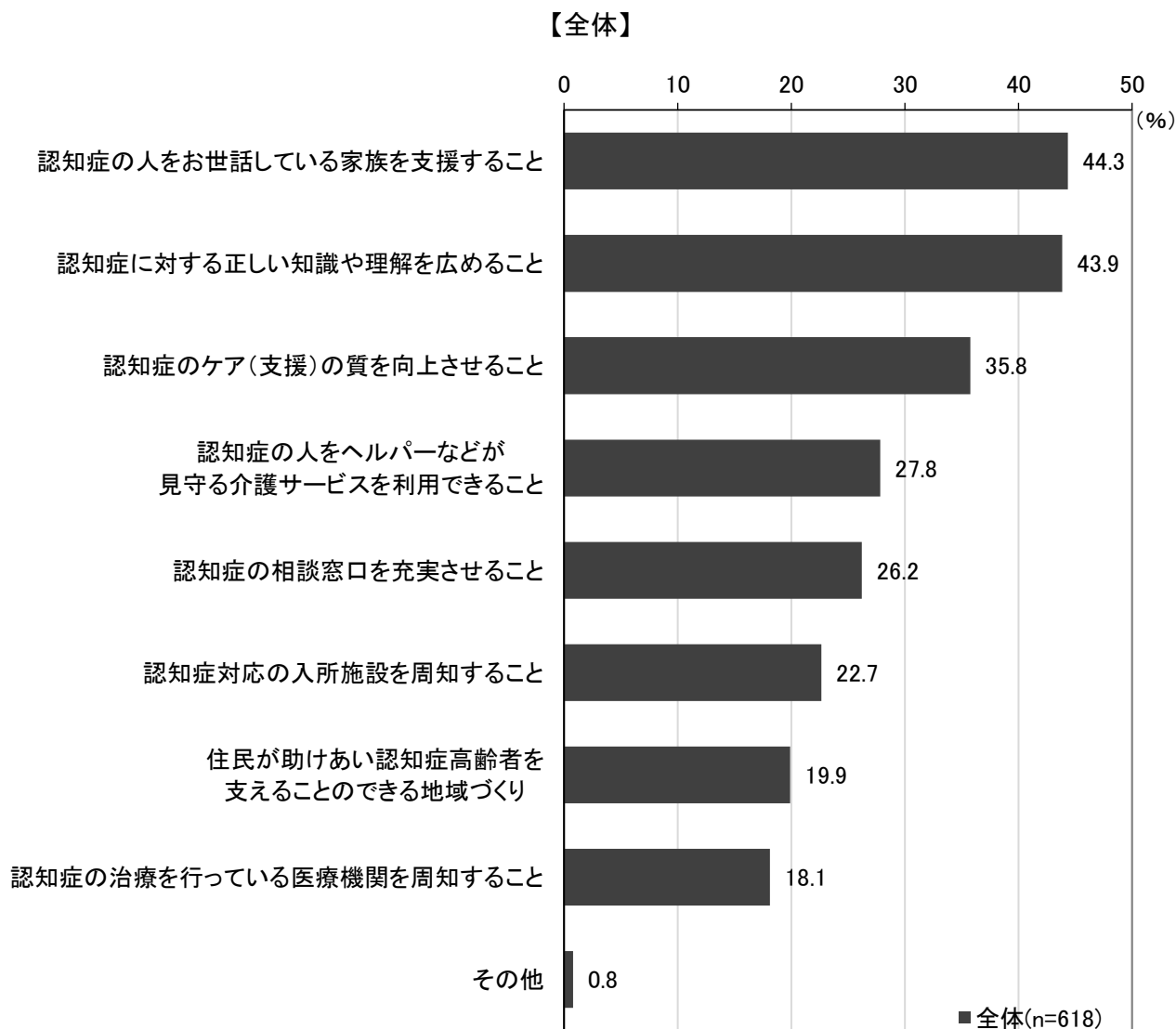
- 家族などによる介護を中心に自宅で生活したい
- 介護サービスを利用しながら自宅で生活したい
- 小規模多機能型居宅介護を利用したい(泊まりや訪問のサービスを併用しながら自宅で生活したい)
- グループホームを利用したい(認知症に対応した少人数での共同生活)
- 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい
- わからない
- その他
- 無回答



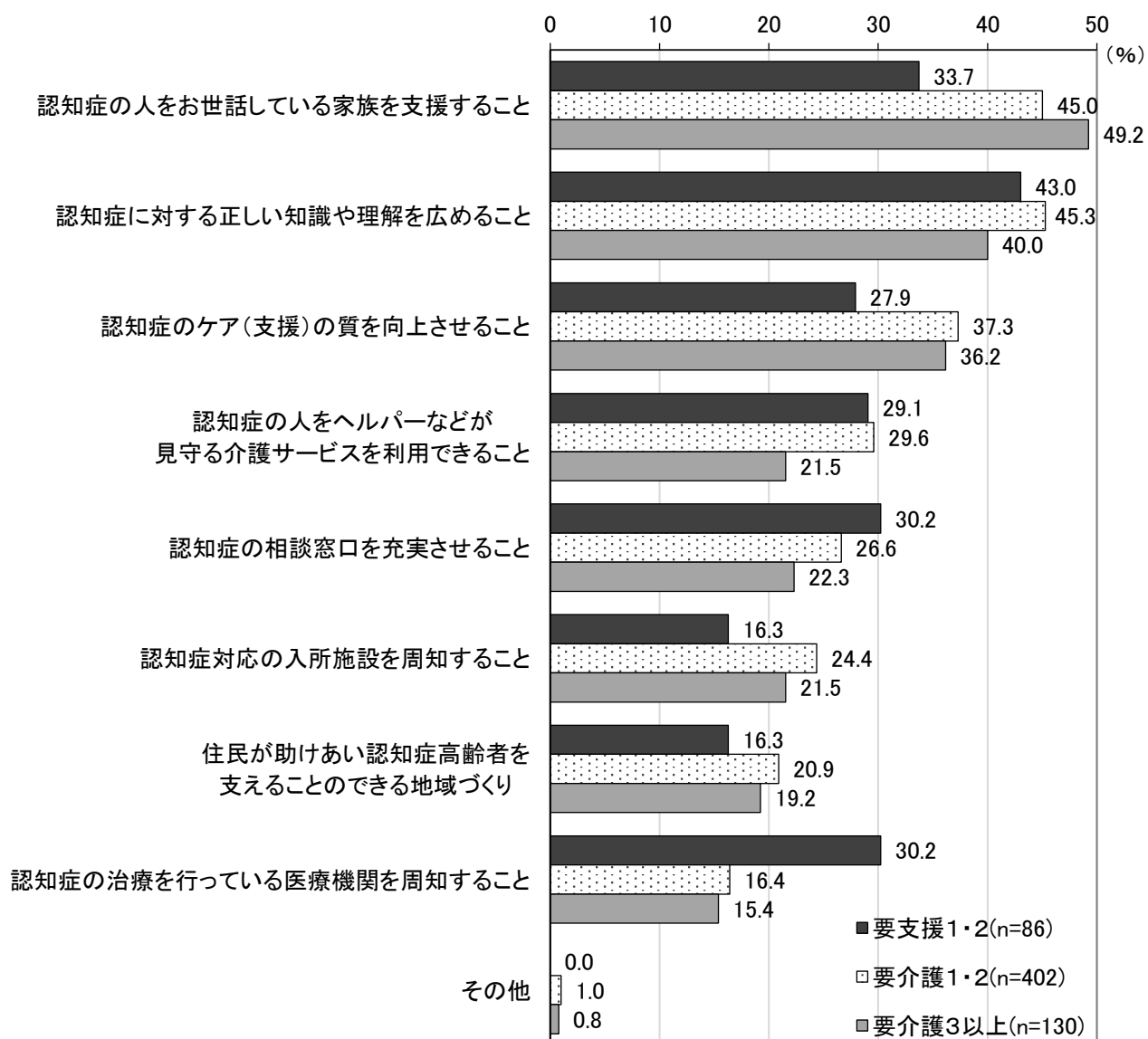
問 15 あなたは、認知症の人が安心して暮らせるまちにするためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（3つまで選択可）

全体でみると、「認知症の人をお世話している家族を支援すること」が 44.3%と最も高く、次いで「認知症に対する正しい知識や理解を広めること」が 43.9%、「認知症のケア（支援）の質を向上させること」が 35.8%となっています。

要介護度別でみると、「認知症の人のお世話をしている家族を支援すること」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。



【要介護度別】

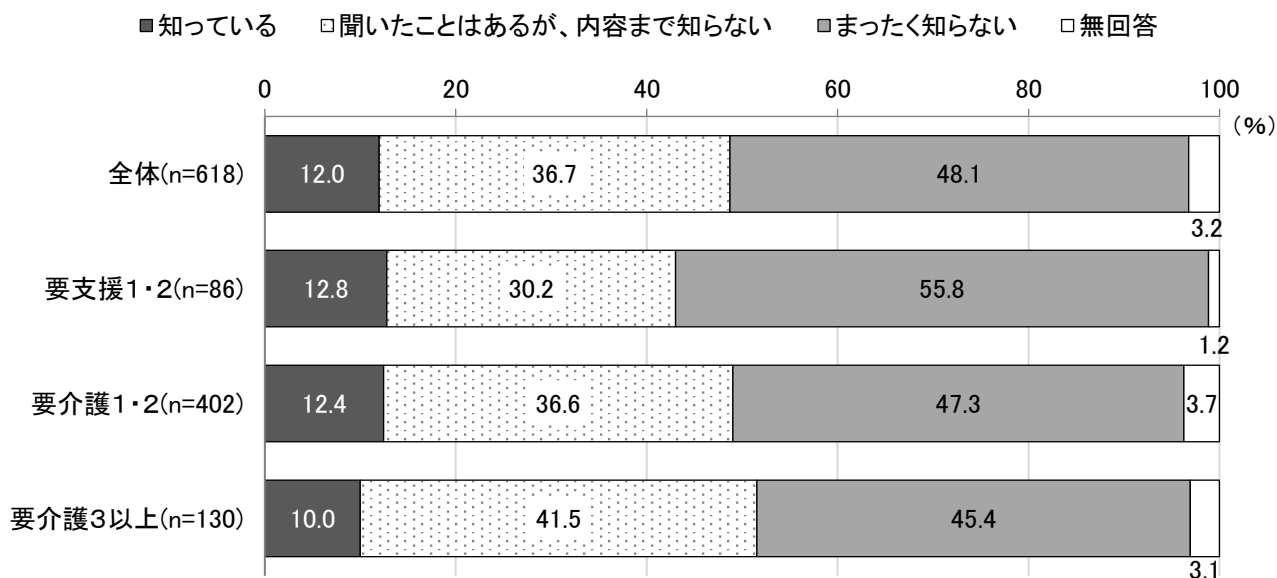


問 16 あなたは、認知症サポーターについて知っていますか。（1つを選択）

全体でみると、「知っている」が 12.0%、「聞いたことはあるが、内容まで知らない」が 36.7%、「まったく知らない」が 48.1%となっています。

要介護度別でみると、「まったく知らない」は要介護度が高くなるにつれ低くなっています。

【要介護度別】

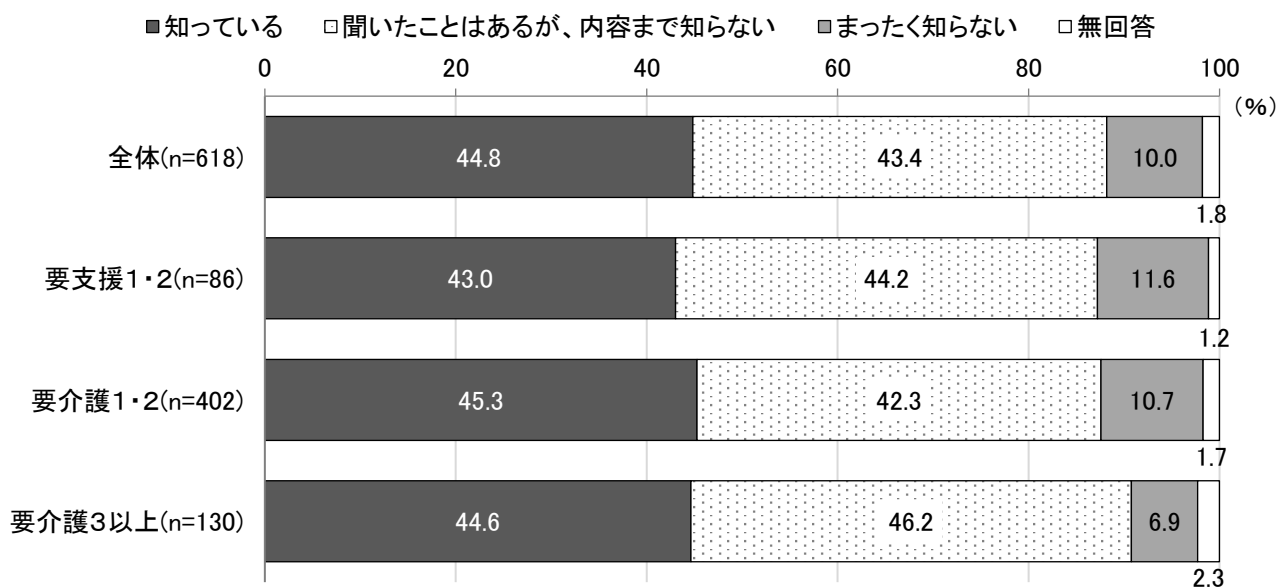


問 17 あなたは、高齢者虐待について知っていますか。（1つを選択）

全体でみると、「知っている」が 44.8%、「聞いたことはあるが、内容まで知らない」が 43.4%、「まったく知らない」が 10.0%となっています。

要介護度別でみると、「まったく知らない」は要介護度が高くなるにつれ低くなっています。

【要介護度別】

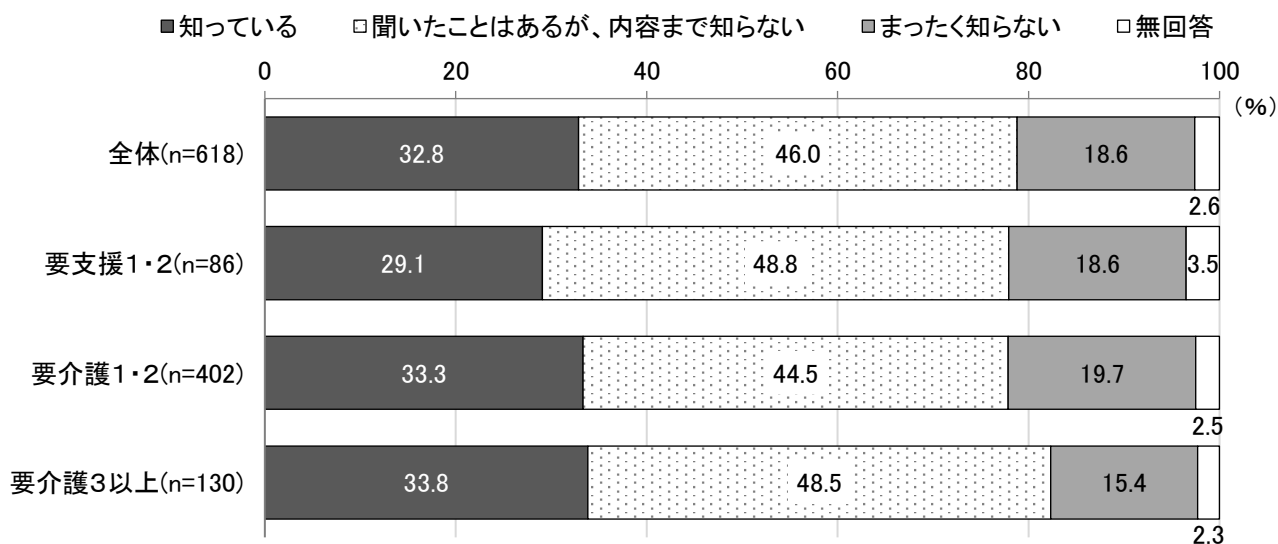


問 18 あなたは、成年後見制度について知っていますか。（1つを選択）

全体でみると、「知っている」が 32.8%、「聞いたことはあるが、内容まで知らない」が 46.0%、「まったく知らない」が 18.6%となっています。

要介護度別でみると、「まったく知らない」は“要介護1・2”が 19.7%と最も高くなっています。

【要介護度別】

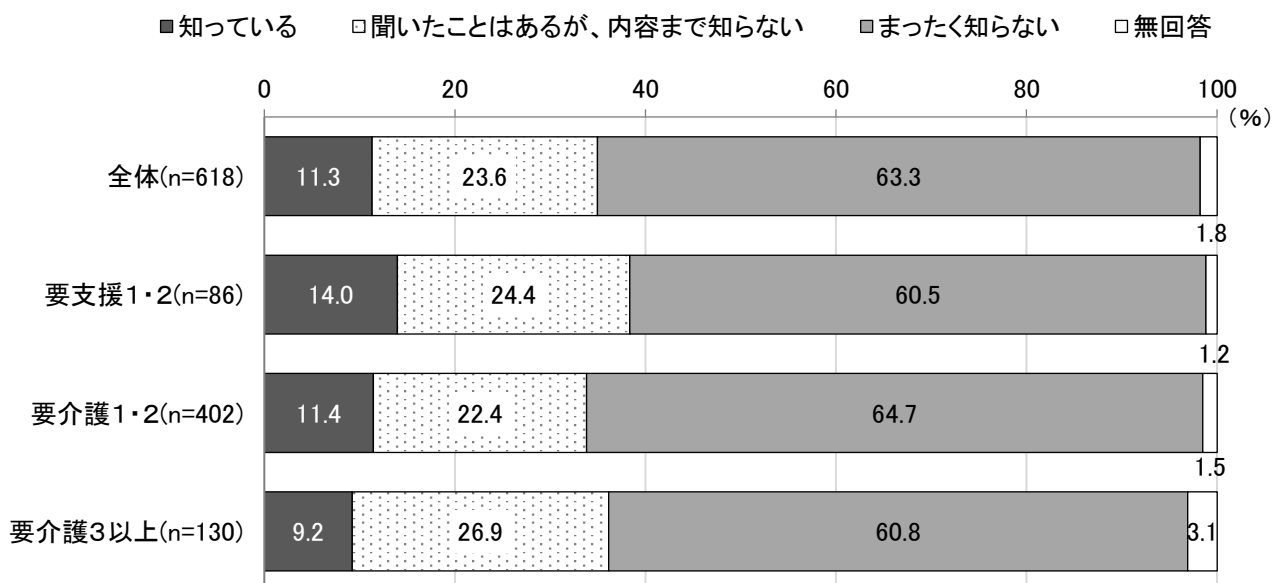


問 19 あなたは、認知症や障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、成年後見制度の相談窓口となる「中核機関」が、総合会館（ハピネスなかま）の1階にあることを知っていますか。（1つを選択）

全体でみると、「知っている」が 11.3%、「聞いたことはあるが、内容まで知らない」が 23.6%、「まったく知らない」が 63.3%となっています。

要介護度別でみると、「知っている」は要介護度が高くなるにつれ低くなっています。

【要介護度別】



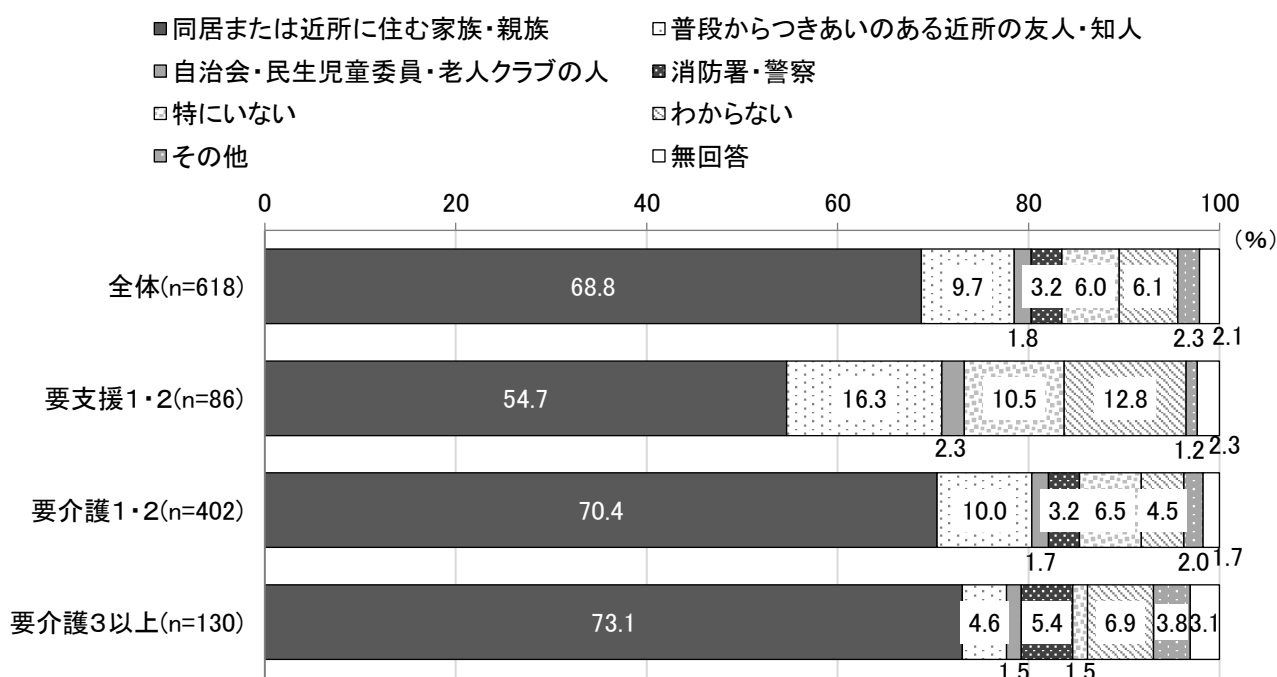
問 20 あなたは、地震や台風などの災害が発生して避難などに手助けが必要となったとき、最初に誰が手助けしてくれると思いますか。（1つを選択）

全体でみると、「同居または近所に住む家族・親族」が68.8%と最も高く、次いで「普段からつきあいのある近所の友人・知人」が9.7%、「わからない」が6.1%となっています。

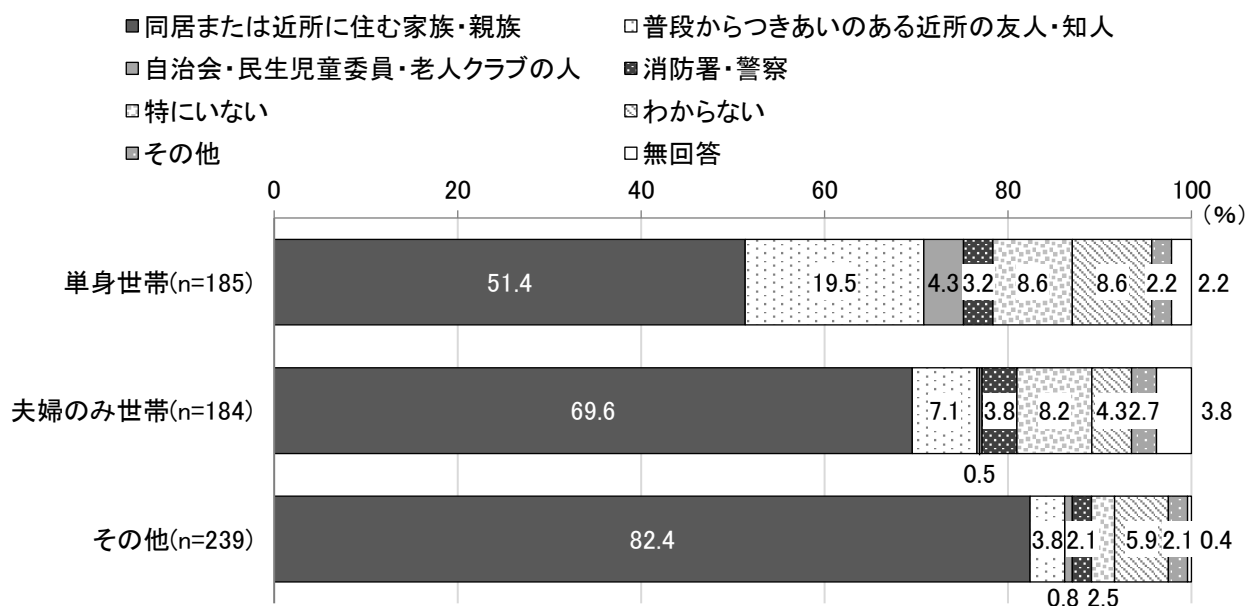
要介護度別でみると、「同居または近所に住む家族・親族」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。

世帯類型別でみると、「特にいない」は“単身世帯”で8.6%、“夫婦のみ世帯”で8.2%と、“その他”より高くなっています。

【要介護度別】



【世帯類型別】



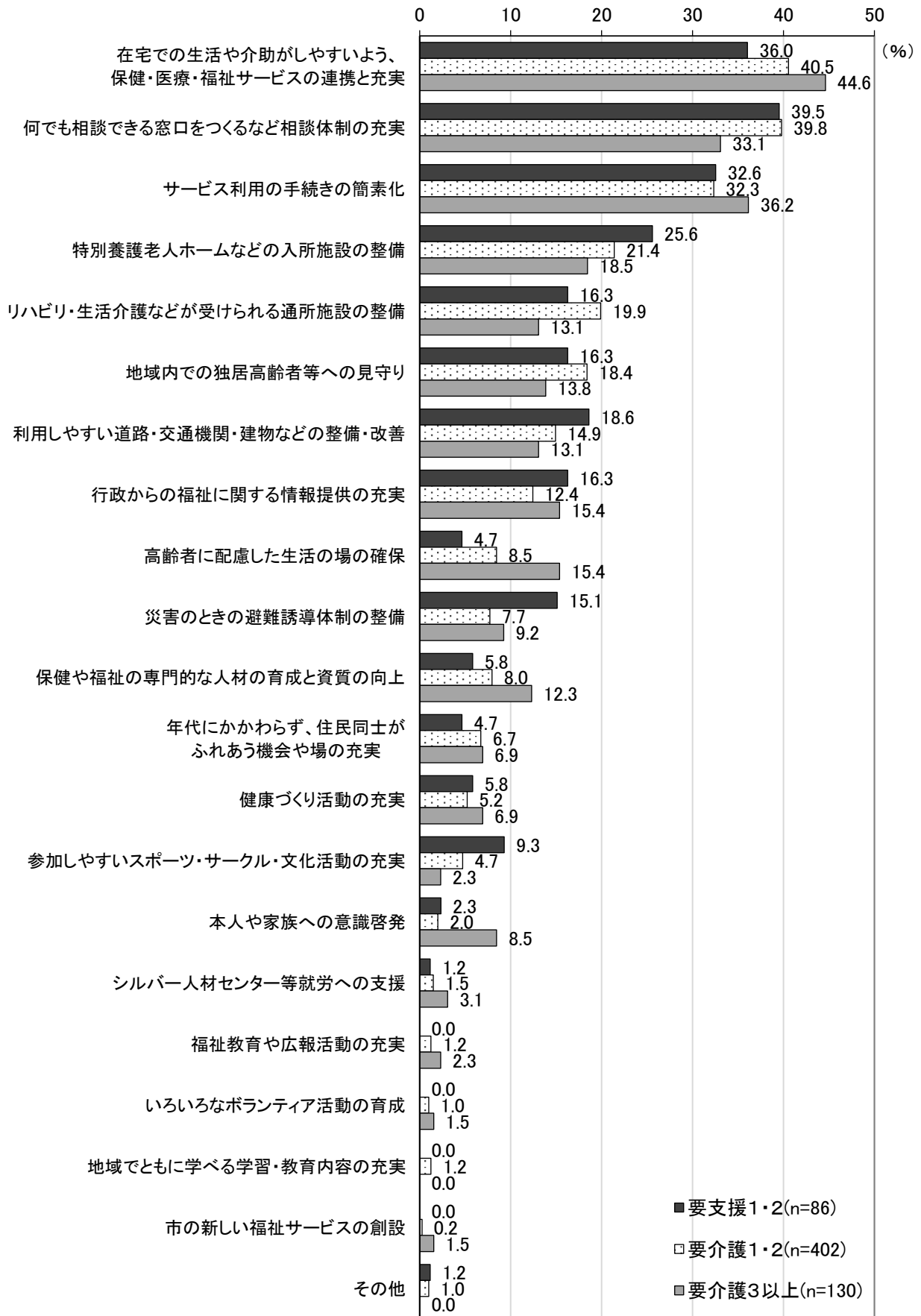
問 21 あなたは、高齢者が健やかに過ごすために、どのようなところに力を入れるとよいと思いますか。(3つまで選択可)

全体でみると、「在宅での生活や介助がしやすいよう、保健・医療・福祉サービスの連携と充実」が 40.8%と最も高く、次いで「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制の充実」が 38.3%、「サービス利用の手続きの簡素化」が 33.2%となっています。

要介護度別でみると、「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」、「利用しやすい道路・交通機関・建物などの整備・改善」、「参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実」は要介護度が高くなるにつれ高く低くなっています。



【要介護度別】



問 22 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

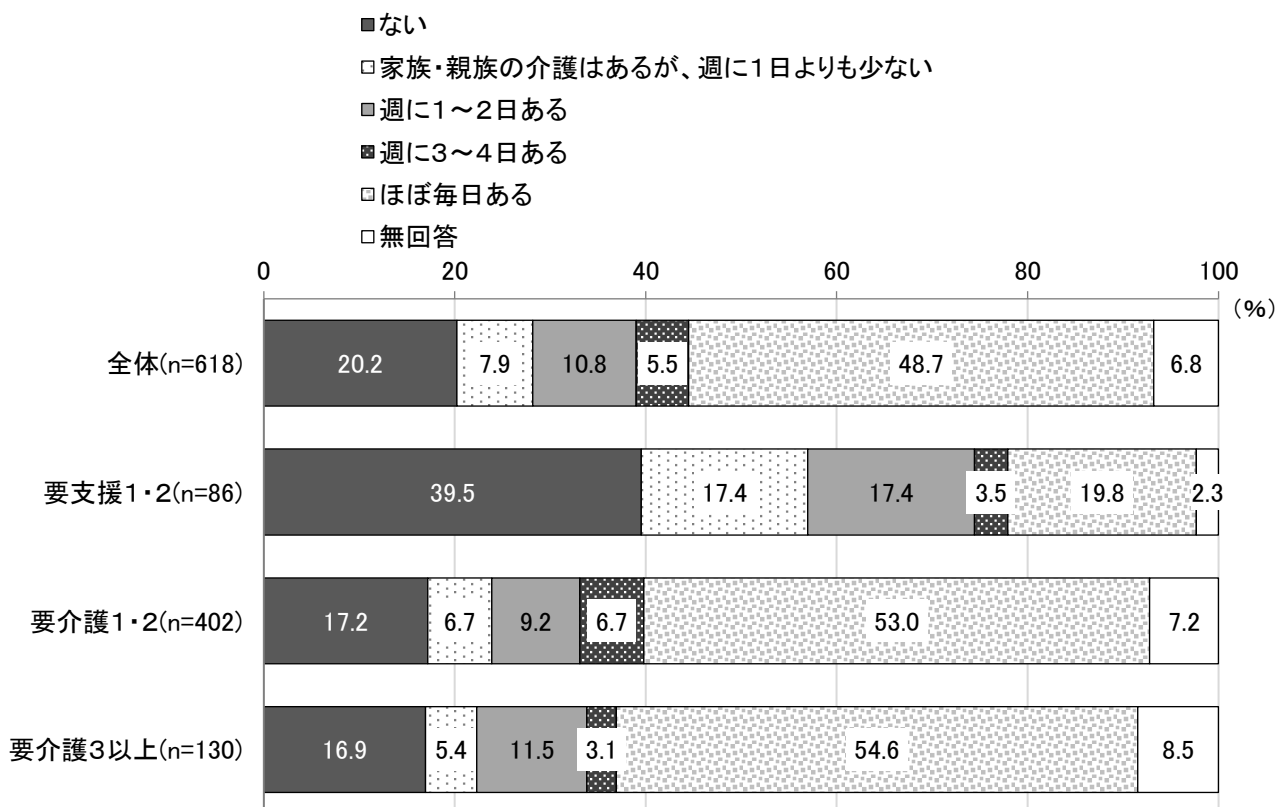
全体でみると、「ほぼ毎日ある」が48.7%と最も高く、次いで「ない」が20.2%、「週に1～2日ある」が10.8%となっています。

要介護度別でみると、「ほぼ毎日ある」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。

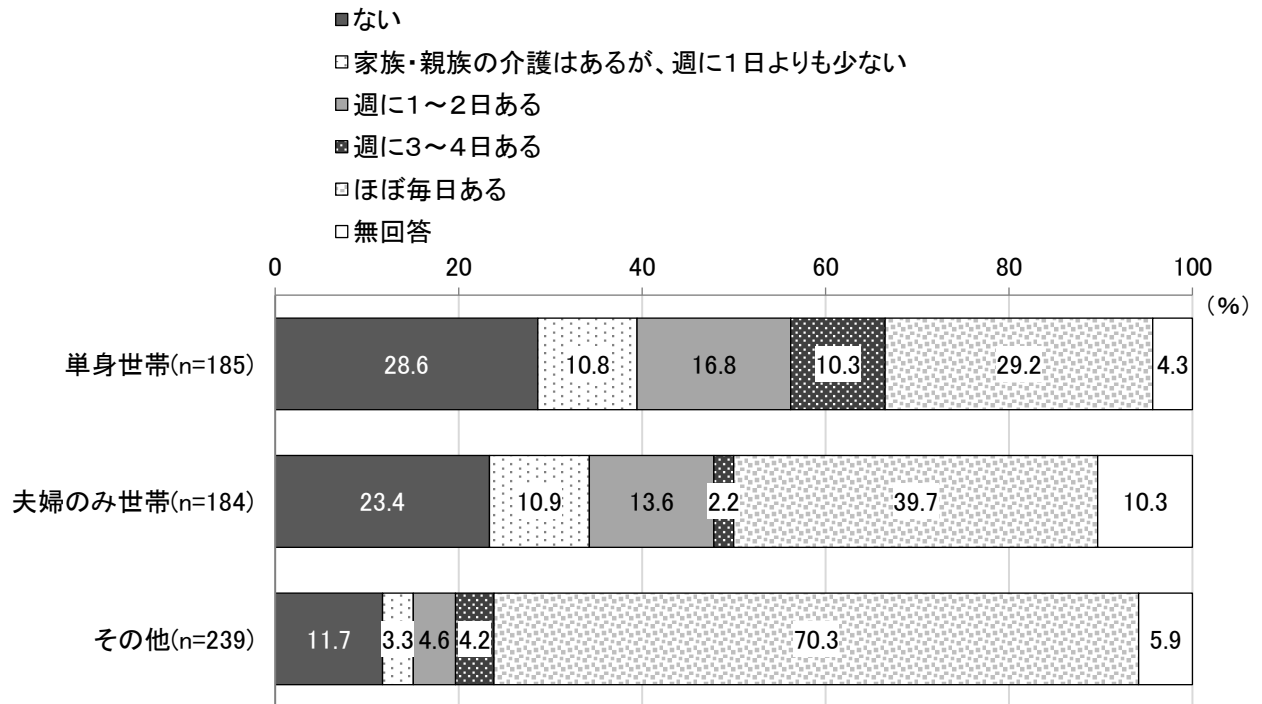
世帯類型別でみると、「ほぼ毎日ある」は“その他”が70.3%と最も高く、「ない」は“単身世帯”が28.6%と最も高くなっています。

主な介護者の就業状況別でみると、「ほぼ毎日ある」は“働いていない”が75.1%と最も高くなっています。

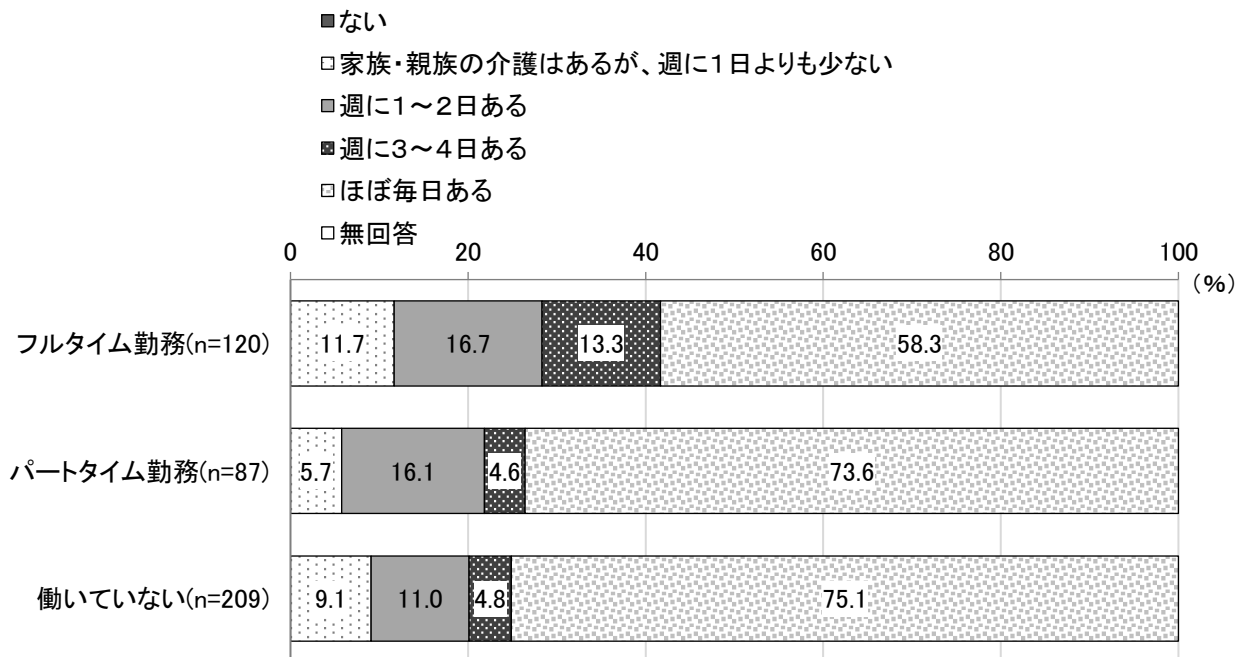
【要介護度別】



【世帯類型別】



【主な介護者の就業状況別】



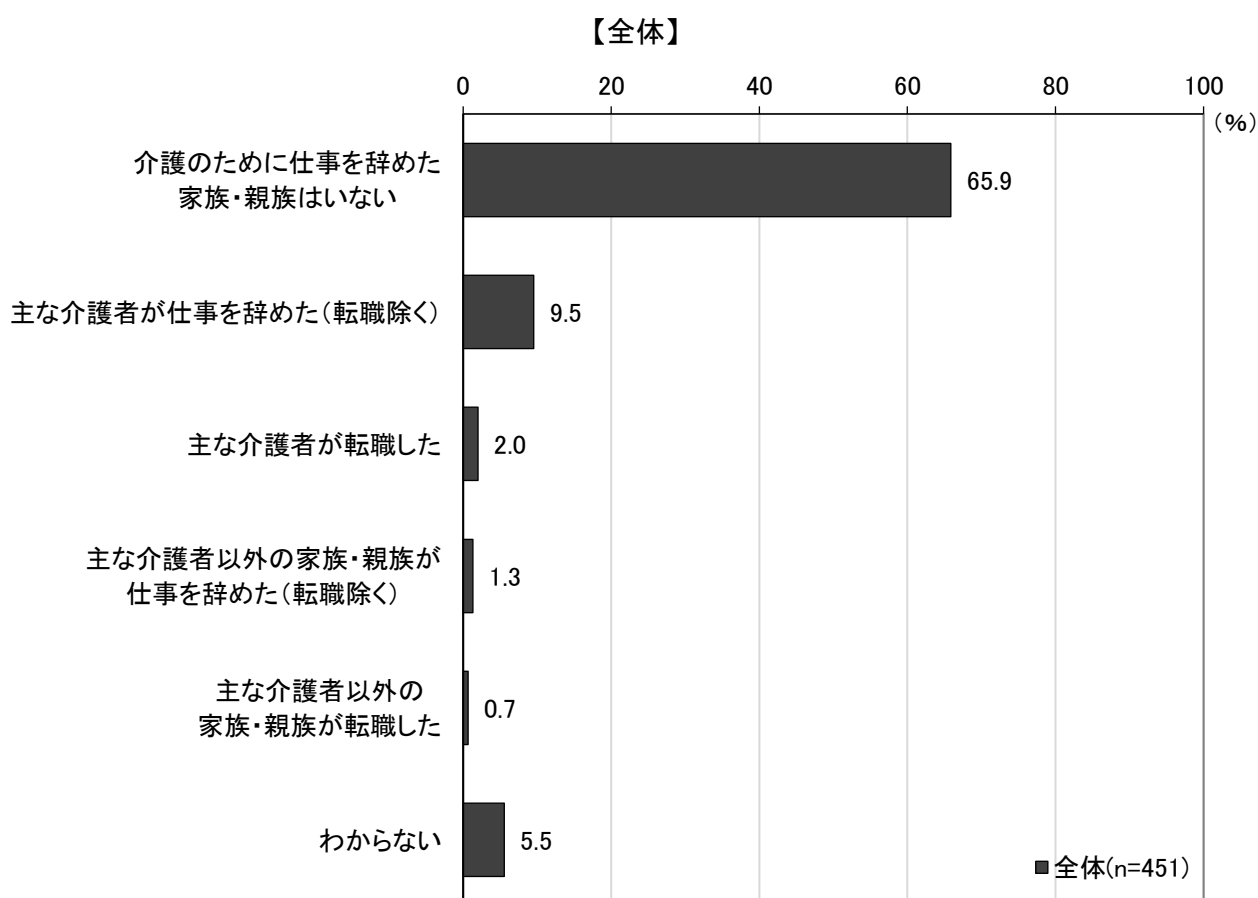
➤B 票：主な介護者の方について

【A 票の問 22 で「家族・親族の介護はあるが、週に 1 日よりも少ない」、「週に 1～2 日ある」、「週に 3～4 日ある」、「ほぼ毎日ある」と回答した方のみ】

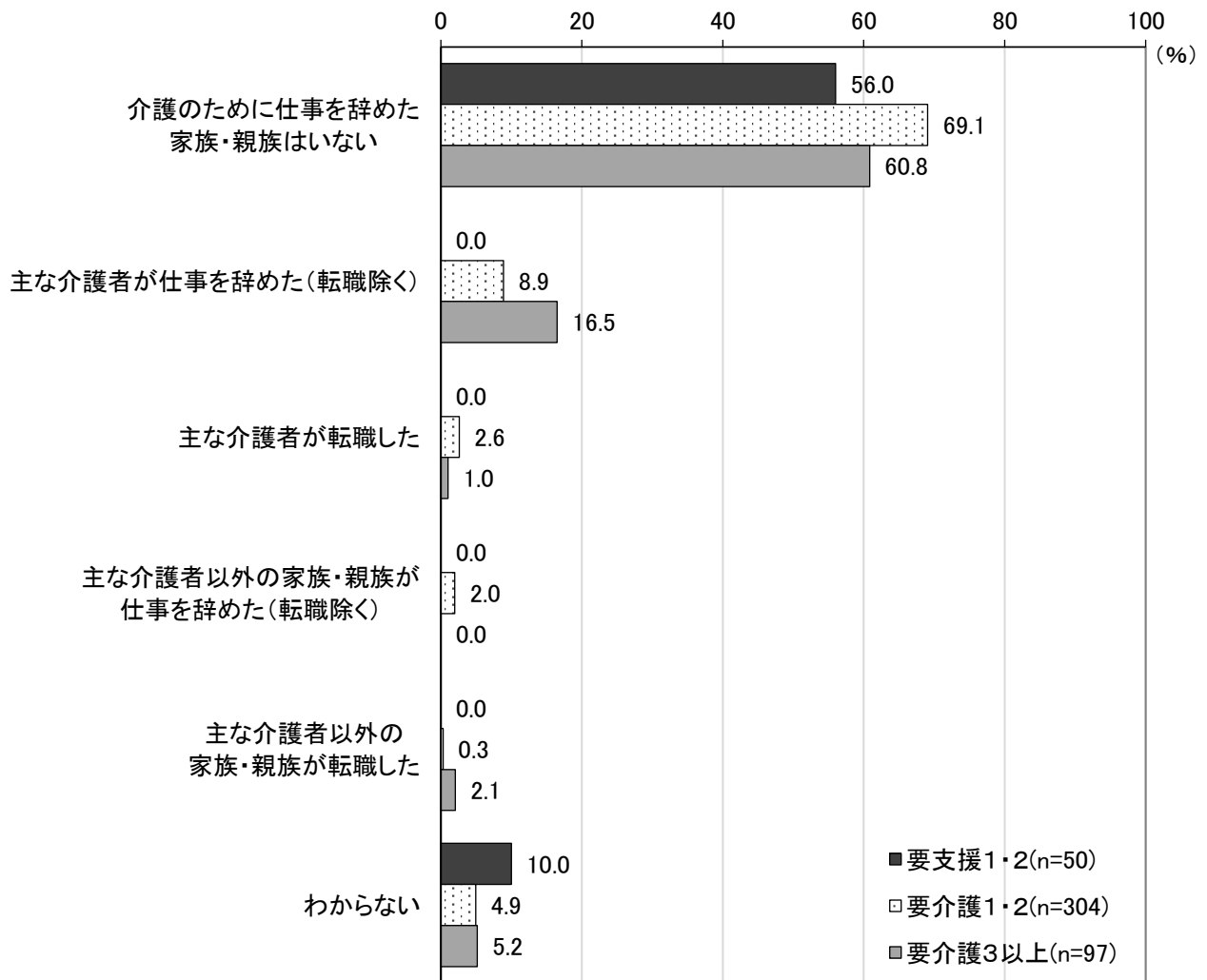
問 1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

全体でみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 65.9%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 9.5%、「わからない」を除き、「主な介護者が転職した」が 2.0%となっています。

要介護度別でみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。



【要介護度別】

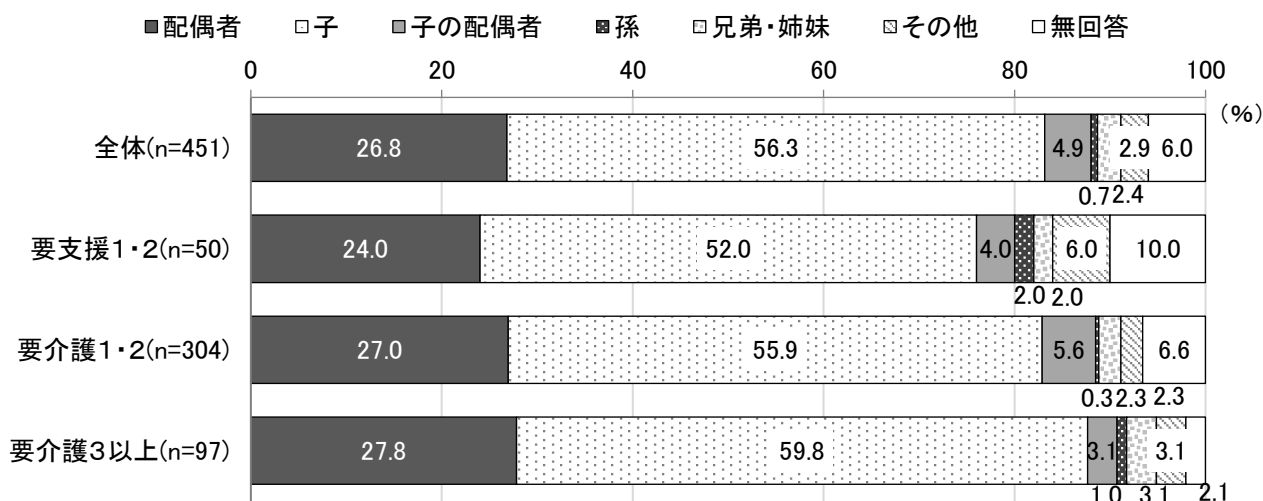


問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

全体でみると、「子」が56.3%と最も高く、次いで「配偶者」が26.8%、「無回答」を除き、「子の配偶者」が4.9%となっています。

要介護度別でみると、「子」は“要介護度3以上”が59.8%と最も高くなっています。

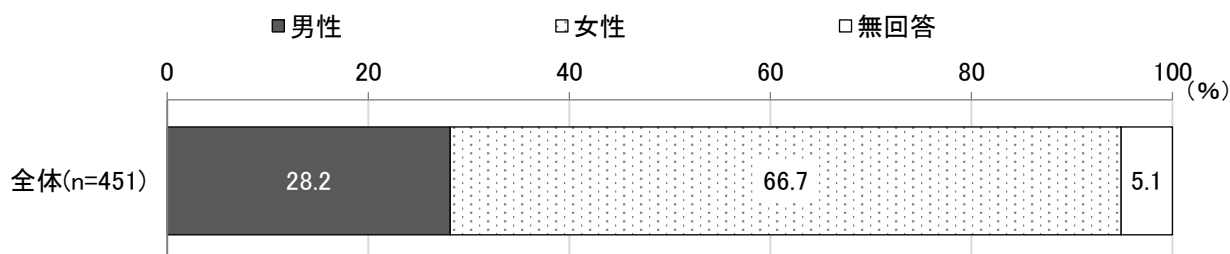
【要介護度別】



問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

全体でみると、男性が28.2%、女性が66.7%となっています。

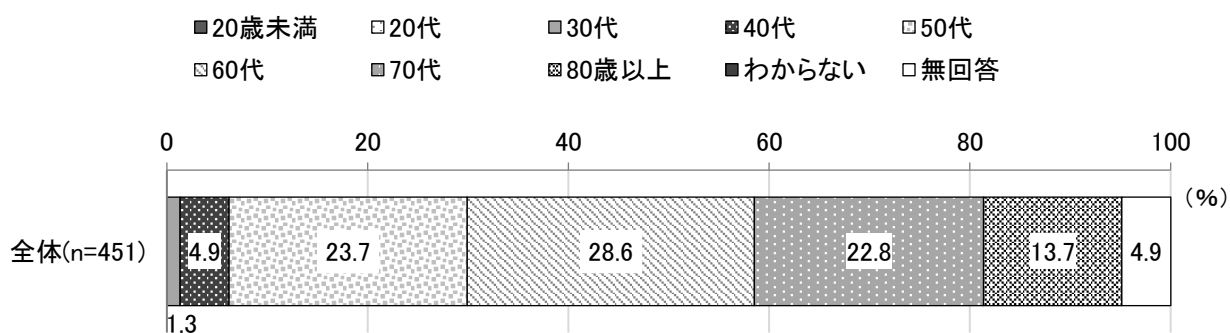
【全体】



問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

全体でみると、「60代」が28.6%と最も高く、次いで「50代」が23.7%、「70代」が22.8%となっています。

【全体】



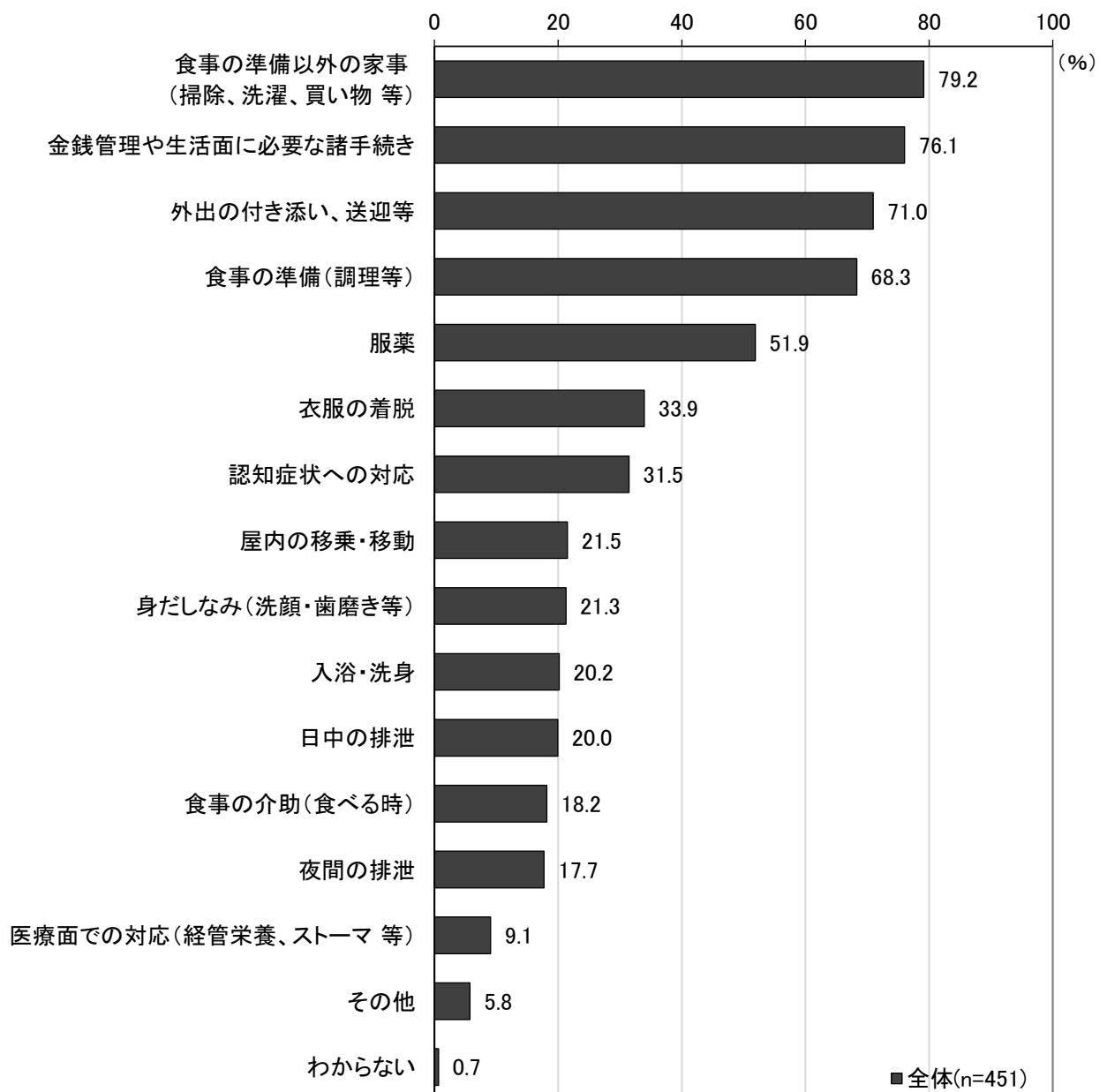
問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

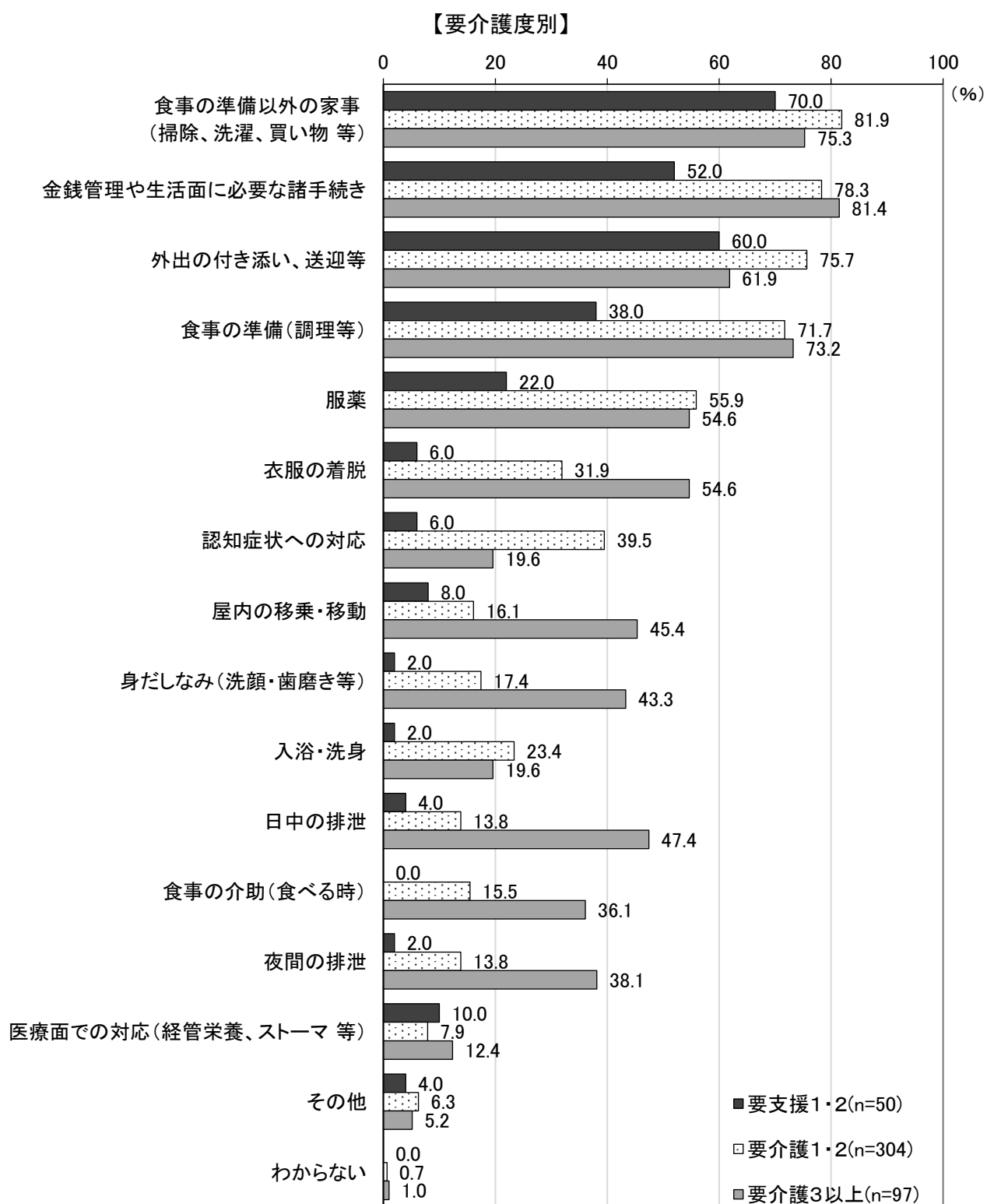
全体でみると、「食事の準備以外の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.2%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が76.1%、「外出の付き添い、送迎等」が71.0%となっています。

要介護度別でみると、“要介護3以上”では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が81.4%と最も高くなっています。

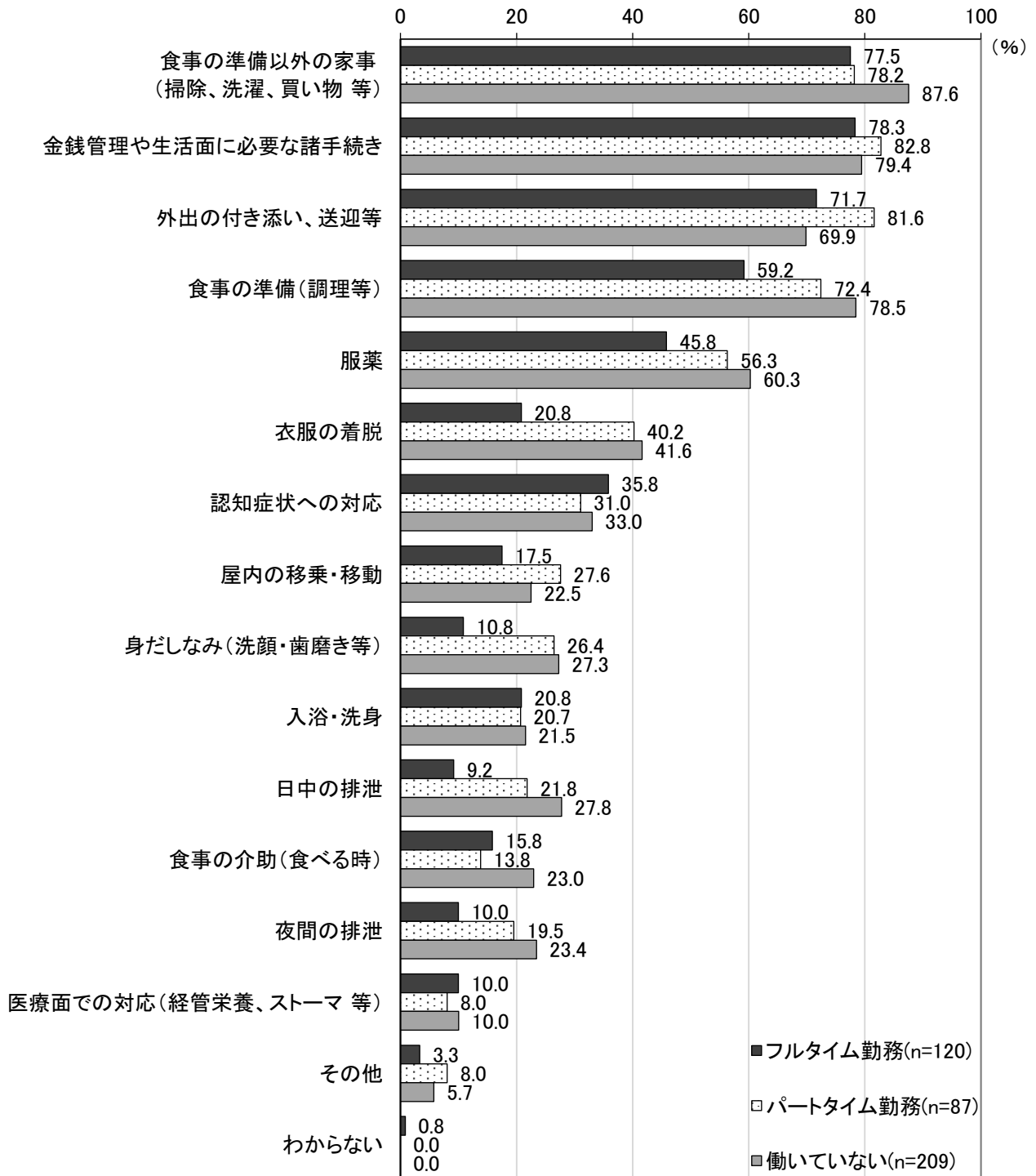
主な介護者の就業状況別でみると、“フルタイム勤務”と“パートタイム勤務”では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が最も高く、“働いていない”では「食事の準備以外の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も高くなっています。

【全体】





【主な介護者の就業状況別】



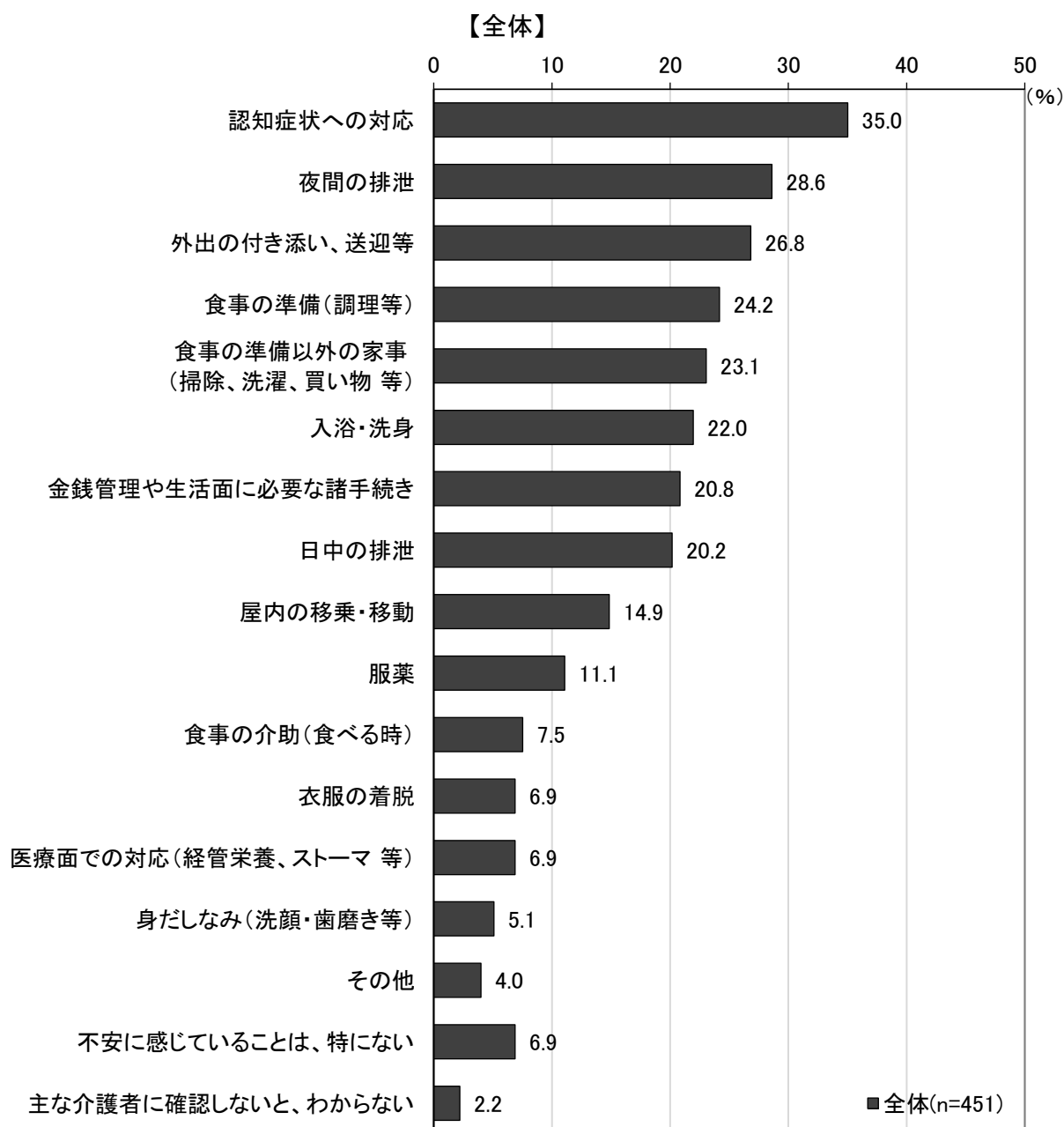
問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

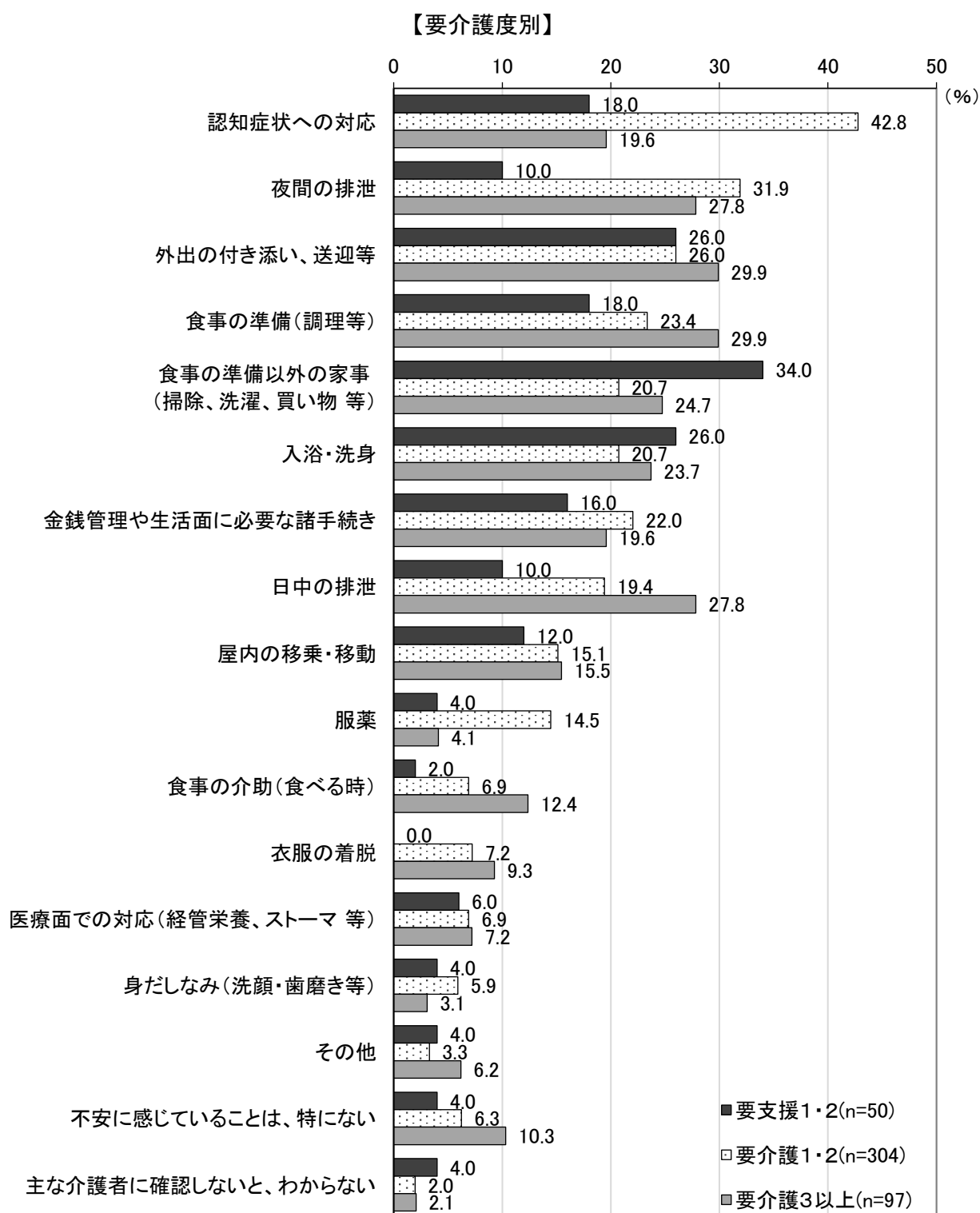
全体でみると、「認知症状への対応」が35.0%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が28.6%、「外出の付き添い、送迎等」が26.8%となっています。

要介護度別でみると、“要支援1・2”では「食事の準備以外の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が34.0%、“要介護1・2”では「認知症状への対応」が42.8%と最も高くなっています。

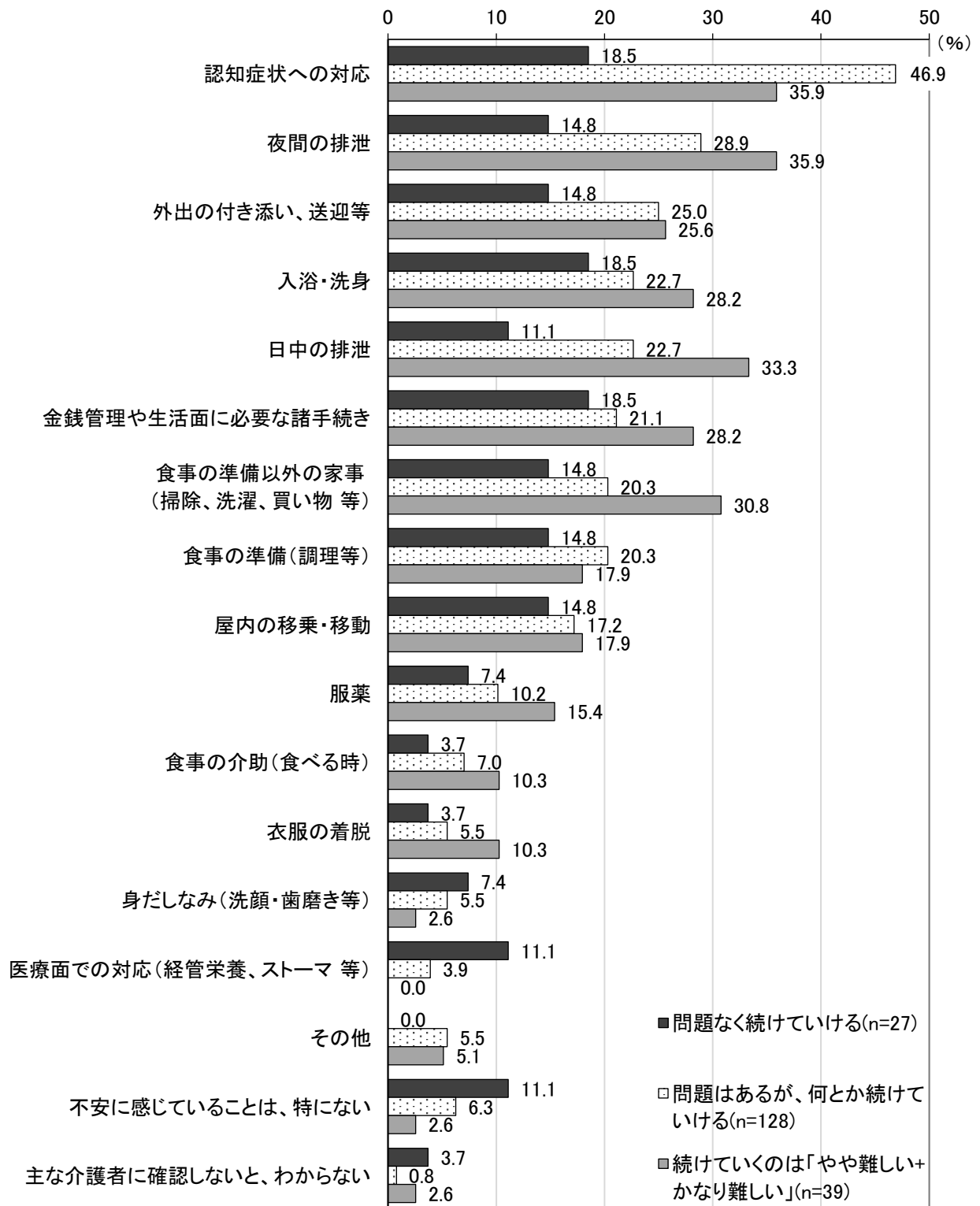
“要介護3以上”では「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」が29.9%と最も高くなっています。

主な介護者の就業継続見込み別でみると、“問題なく、続けていける”では「認知症状への対応」、「入浴・洗身」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が18.5%と最も高くなっています。“問題はあるが、何とか続けていける”では「認知症状への対応」が46.9%と最も高く、“続けていくのは「やや難しい」+「かなり難しい」”では「認知症状への対応」、「夜間の排泄」が35.9%と最も高くなっています。





【主な介護者の就業継続見込み別(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

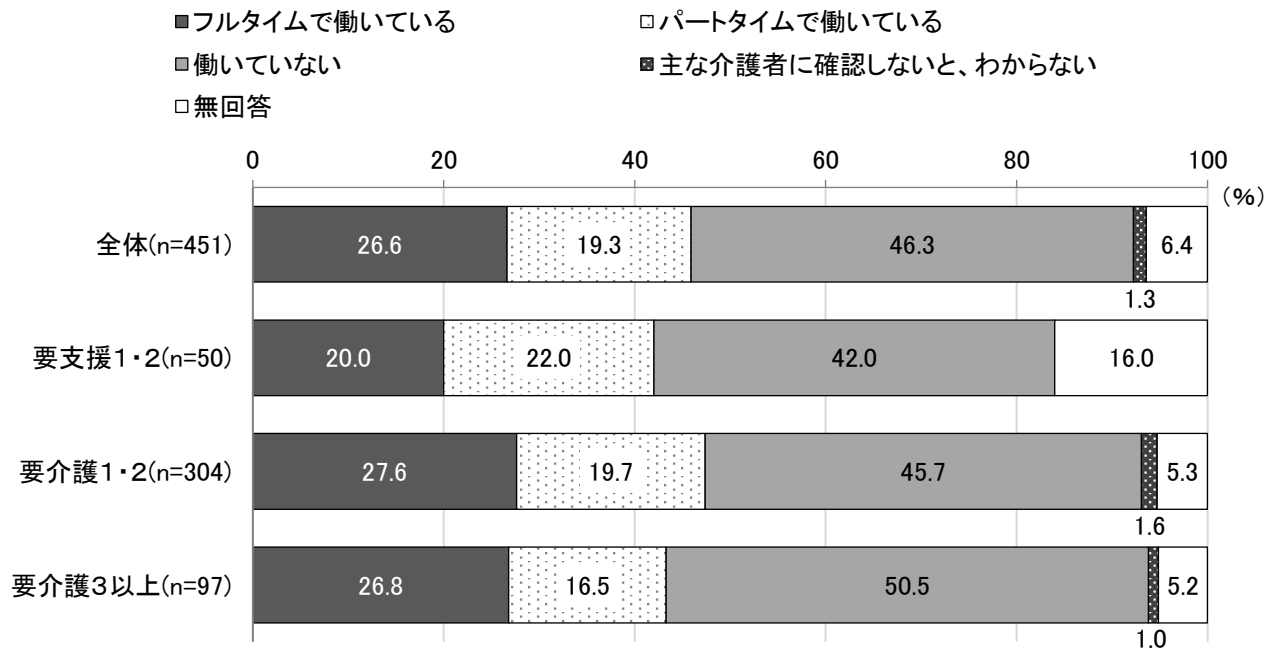


問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

全体でみると、「働いていない」が46.3%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が26.6%、「パートタイムで働いている」が19.3%となっています。

要介護度別でみると、「働いていない」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。

【要介護度別】



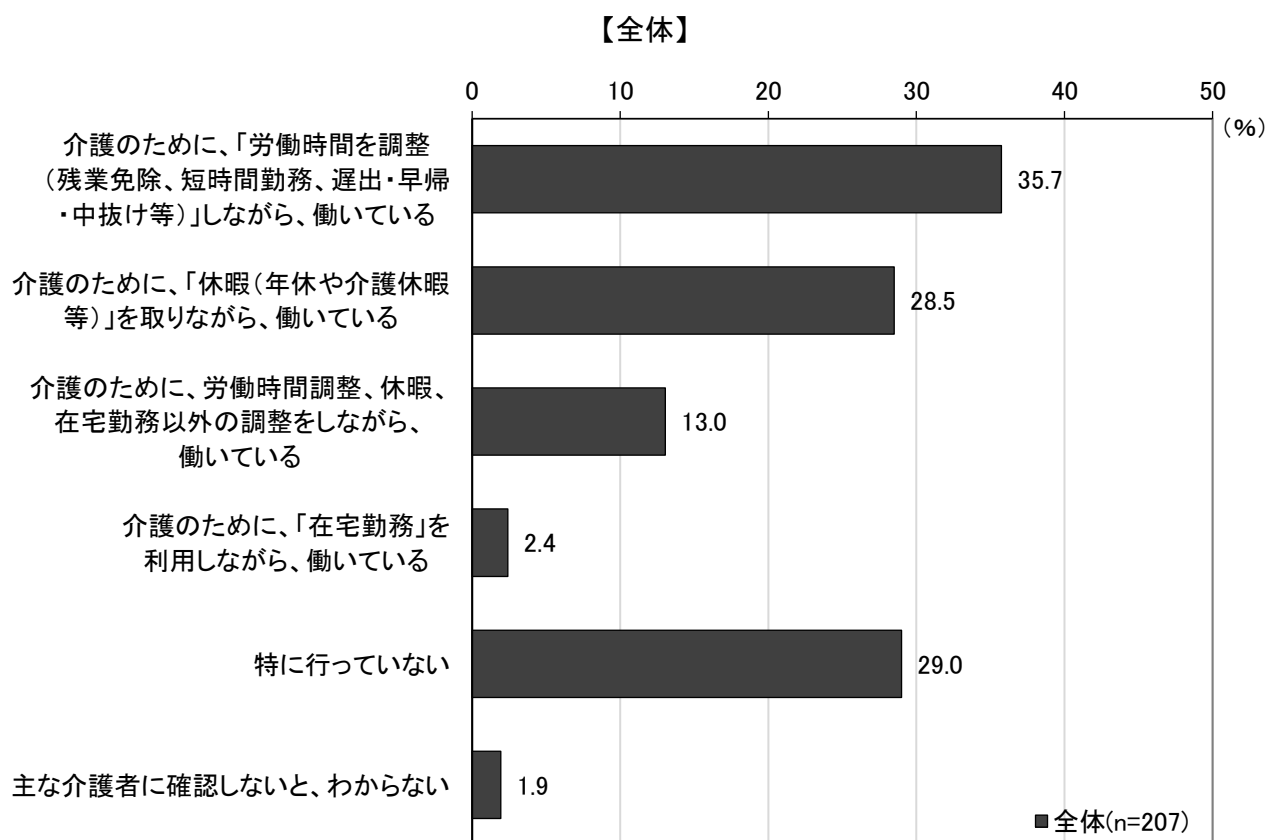
【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか（複数選択可）

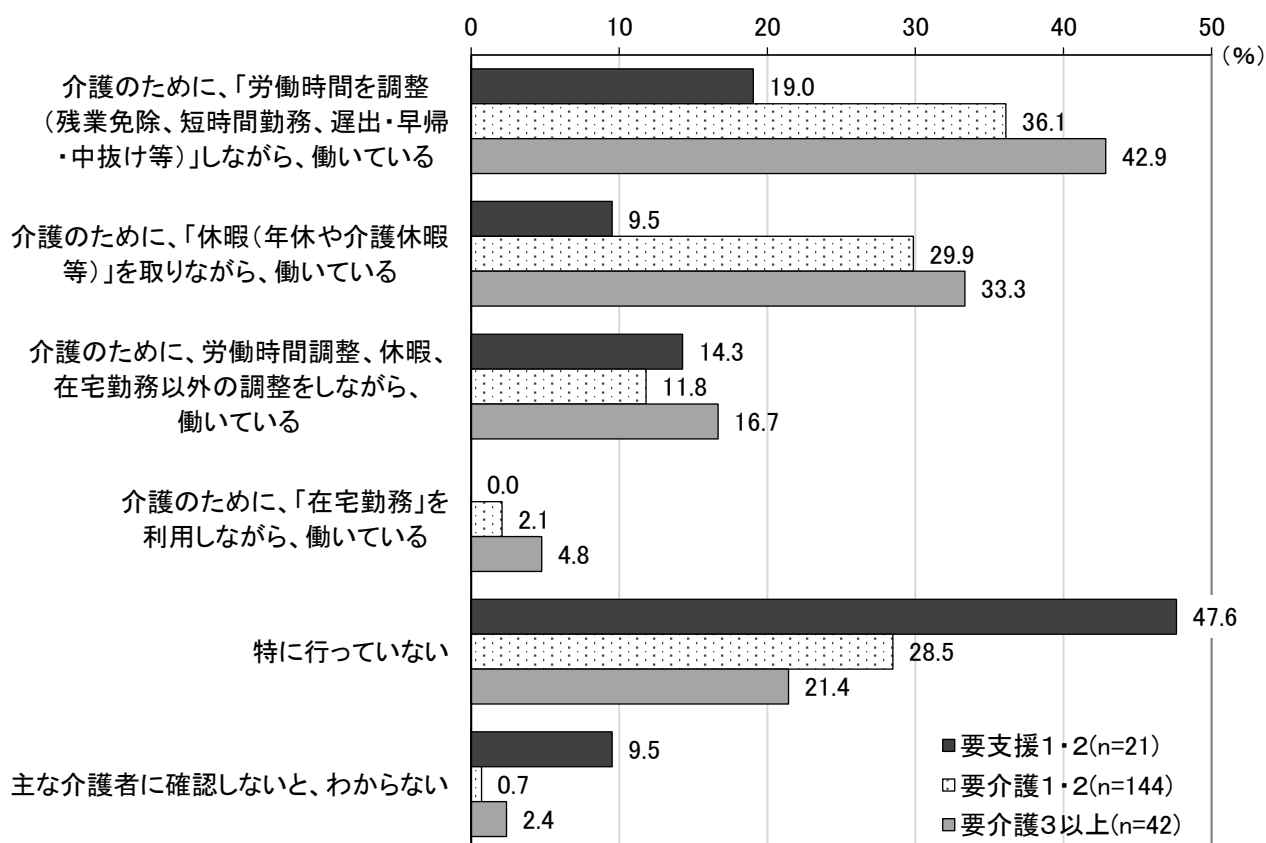
全体でみると、「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が35.7%と最も高く、次いで「特に行っていない」が29.0%、「介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が28.5%となっています。

要介護度別でみると、「特に行っていない」は要介護度が高くなるにつれ低くなっています。

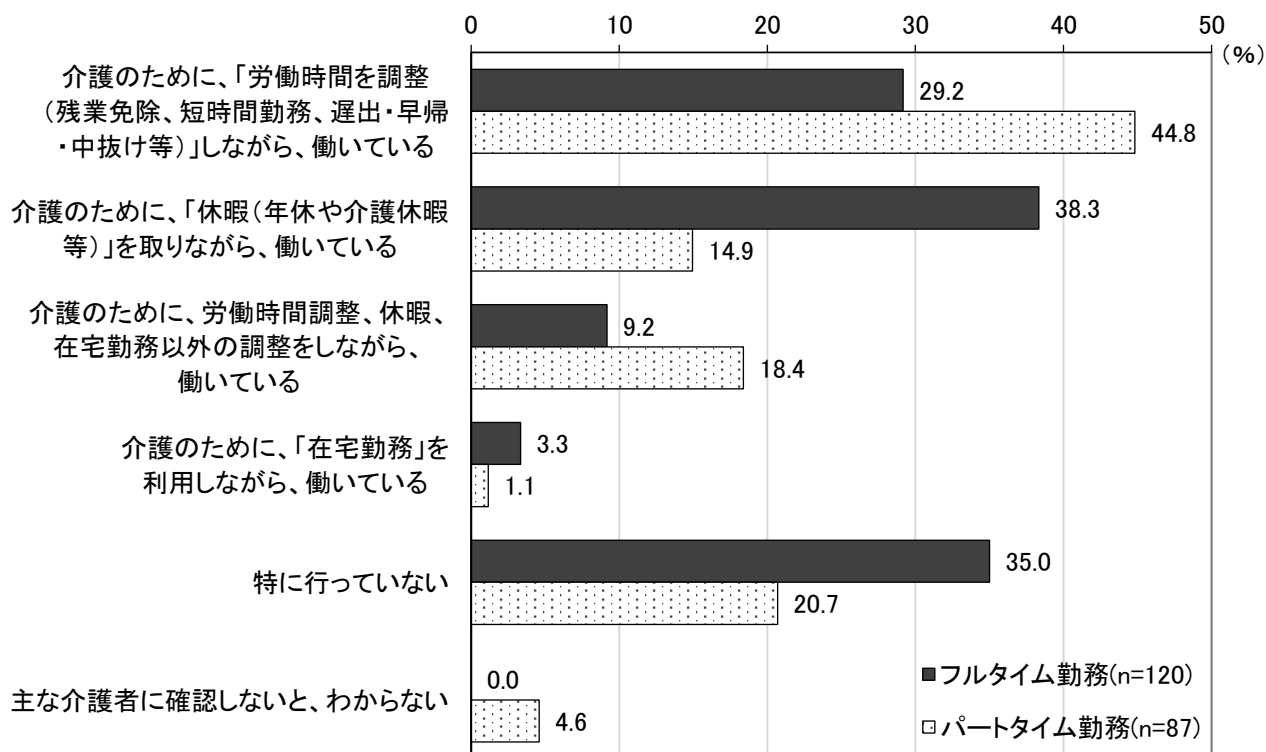
主な介護者の就業状況別でみると、“フルタイム勤務”では「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が“パートタイム勤務”より23.4ポイント高く、“パートタイム勤務”では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が“フルタイム勤務”より15.6ポイント高くなっています。



【要介護度別】



【主な介護者の就業状況別】



【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

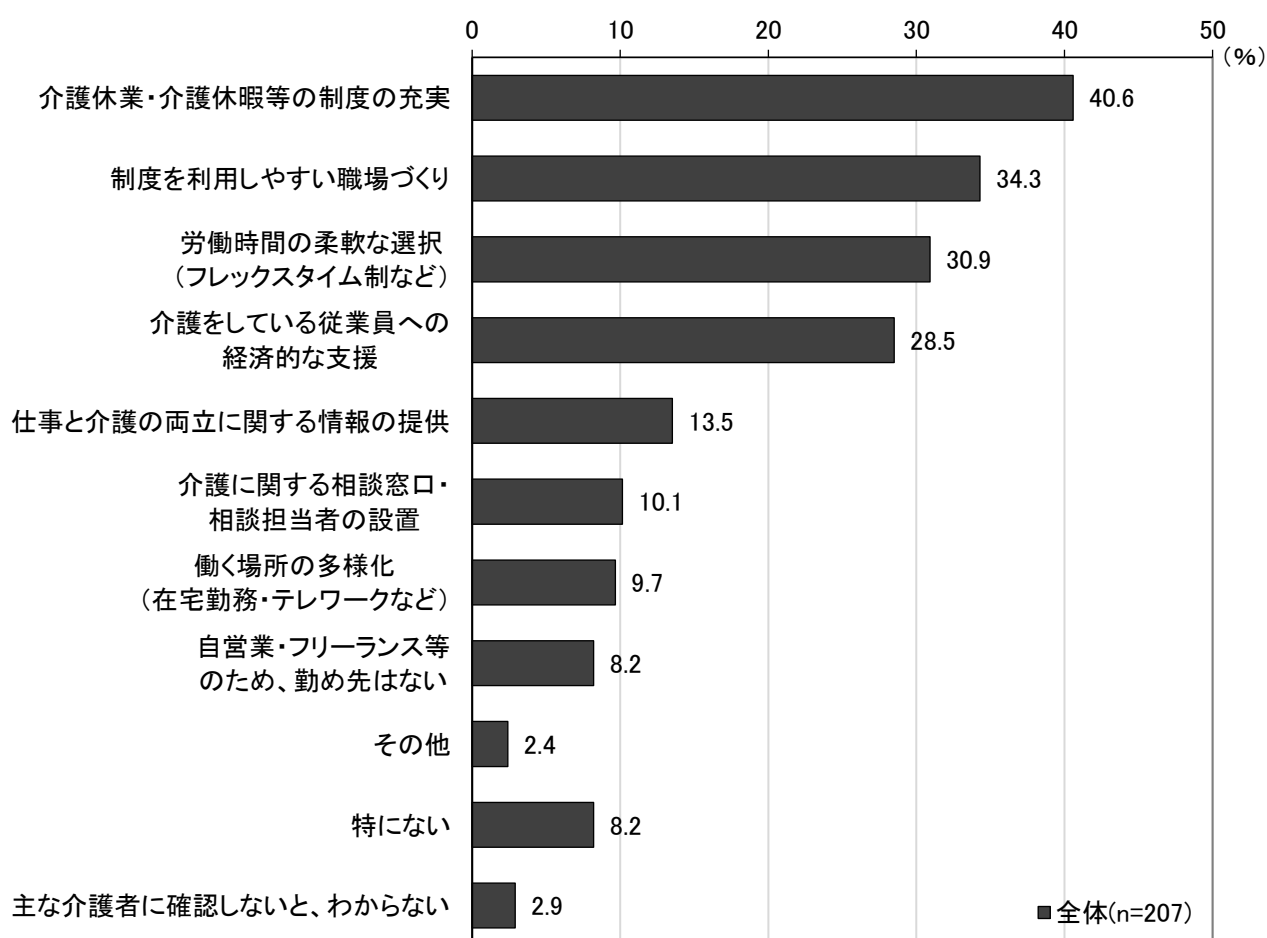
問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

全体でみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が40.6%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が34.3%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が30.9%となっています。

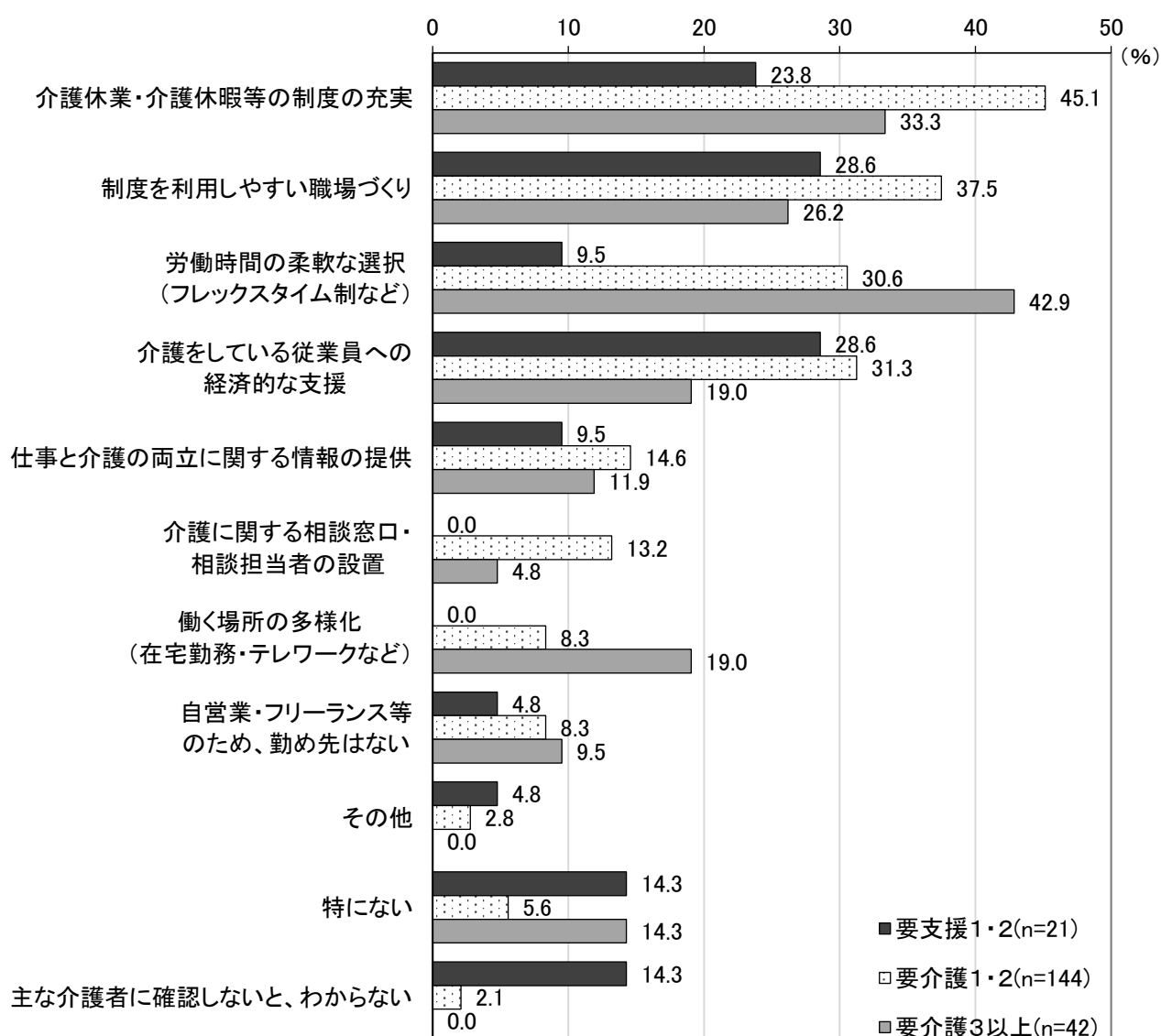
要介護度別でみると、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」は要介護度が高くなるにつれ高くなっています。

主な介護者の就業状況別でみると、“フルタイム勤務”では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が52.5%と最も高く、“パートタイム勤務”では「制度を利用しやすい職場づくり」、「介護をしている従業員への経済的な支援」が27.6%と最も高くなっています。

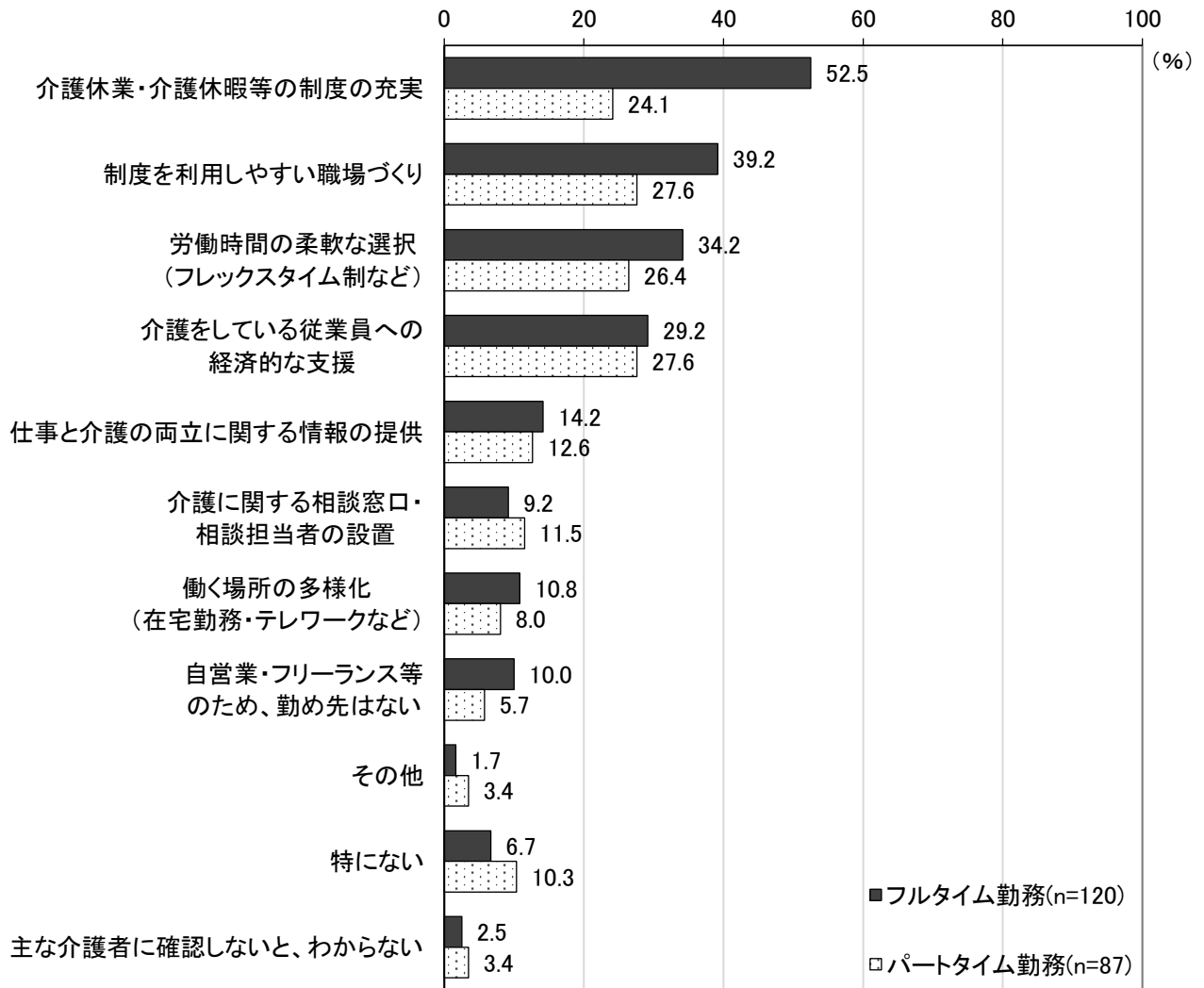
【全体】



【要介護度別】



【主な介護者の就業状況別】



【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

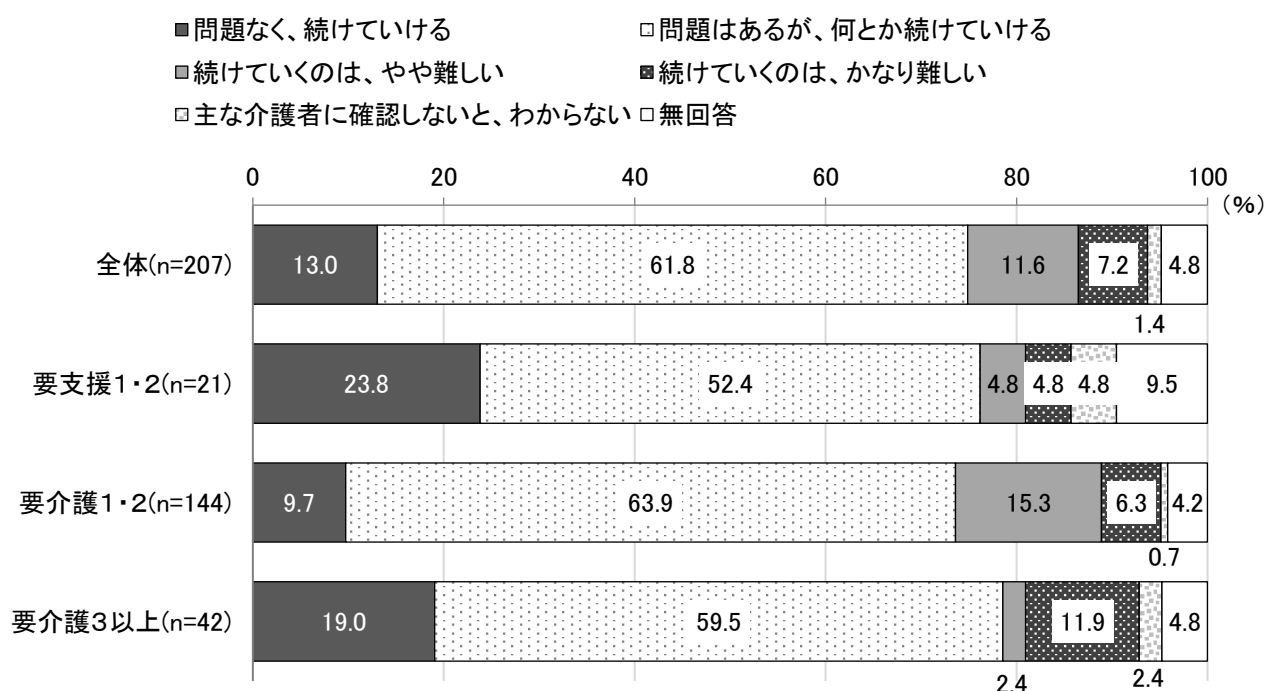
問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

全体でみると、「問題はあるが、何とか続けていける」が61.8%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が13.0%、「続けていくのは、やや難しい」が11.6%となっています。

要介護度別でみると、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計は“要介護1・2”が21.6%と最も高くなっています。

主な介護者の就業状況別でみると、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計は、“フルタイム勤務”が20.0%、“パートタイム勤務”が17.2%と、“フルタイム勤務”の方が2.8ポイント高くなっています。

【要介護度別】



【主な介護者の就業状況別】

